SONY®

4-283-581-**01** (1)

Data Projector

簡易説明書 _______________ JP

Quick Reference Manual___ GB

Guide de référence rapide _ FR

Manual de referencia rápida __ ES

Kurzreferenz _____________ DE

Guida rapida all'uso_______ IT

快速参考手册 ______________ CS

VPL-SX125
VPL-SW125

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐに、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ ソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する

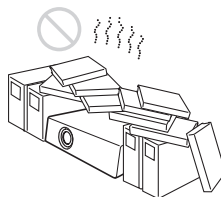
万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

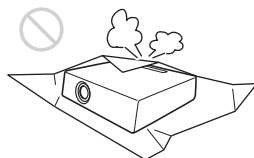
電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

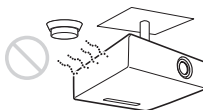
排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。充分に通気ができるように以下の項目をお守りください。

- 周辺の壁や物から離して設置してください（8ページ）。

- 吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしない。

- 出荷時に包装されているシート、柔らかい布地、書類、毛足の長いじゅうたん、小さい紙などの上に設置しない。吸い上げられて、吸気口がふさがれます。

JP

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下し、大けがの原因となります。

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから１時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

天吊りした時、レンズにぶら下がらない

本機や部品が破壊、落下して、けがの原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

製品の上にものを載せない

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。特に、水が入ったものをおくと内部に水が入り、火災や感電の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。

本機を立てて置かない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

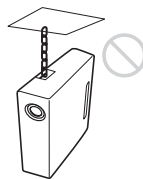
設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

アジャスター調整時に指を挟まない

アジャスターの調整は慎重に行ってください。アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊下げなどの設置に使用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬・移動は慎重に

注意

- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

エアフィルターカバーをつかんで持たない

禁止

本機をエアーフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアーフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する

注意

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

アジャスターを運搬や吊り下げ目的で使用しない

禁止

アジャスターを運搬用の取っ手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に使用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

天吊り状態でランプまたはフィルターを取りはずす際は周りに人がいないことを確認してから取りはずす

注意

天吊りのままランプまたはフィルターを取りはずす際は落下に注意しないと思わぬ事故の原因となります。

定期的にエアーフィルターを掃除する

注意

掃除を怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

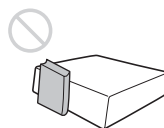
排気口付近に手やものを近付けない

高温

排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置くとやけどや変形の原因になります。

投写中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。
投写を一時的に中断するときには、リモコンを使ってピクチャーミューティング機能をお使いください。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

排気口をのぞかない

禁止

光が目に入り、悪影響を与えることがあります。
万一ランプが破裂した場合、ガラス片が飛散する可能性があり、けがの原因となることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

ランプを傾けて持たない

注意

ランプを傾けて持つと、ランプの破損時にランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持ってください。

使用済みランプを破棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。使用済みランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

レンズを持って運搬しない

レンズを持って運ぶと、本機が壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。

特約店様へ

極端に低い位置に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

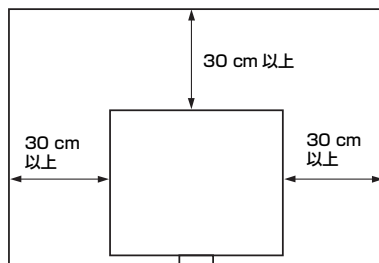
- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（−）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

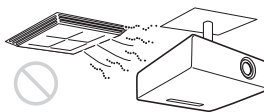
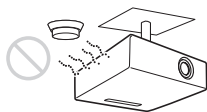
- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

使用上のご注意

設置について

- 図のように、周辺の壁や物から離して設置してください。

- 左右に 15 度以上傾けて使用しないでください。

- 温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

- 空調の冷暖気が直接当たる場所での使用は避けてください。結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

- 熱感知器や煙感知器のそばでの使用は避けてください。感知器が誤動作する原因となることがあります。

- ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となったりします。

- 海抜1500m以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

レンズ、外装のお手入れ

- 必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- レンズを素手で触らないでください。
- レンズ面のお手入れのしかた：
  メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入洗浄剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 外装のお手入れのしかた：
  柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

部屋の照明について

美しく見やすい画像にするために､直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ランプについて

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、次のような特性があります。

- 使用時間の経過によってランプの明るさが低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。

- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなります。
  ランプ交換のメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

持ち運びについて

本機は精密機器です。本機を持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

ネットワークコネクターの接続について
安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

警告

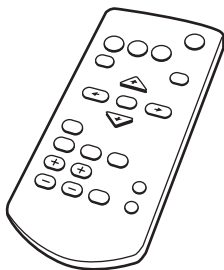
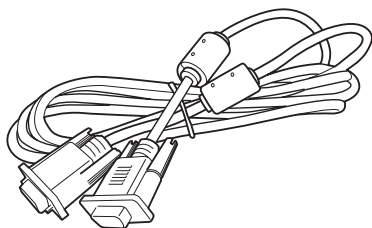
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

付属品を確かめる

リモコン（RM-PJ7）（1 個）
リチウム電池 CR2025（1 個）

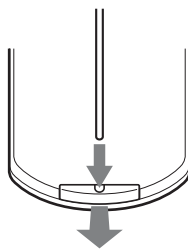
　リモコンに装着されています。使用する前に透明のフィルムを引き抜いてください。

電源コード（1 本）
HD D-sub 15 ピンケーブル（1.8 m）（1）（1-967-100-11/Sony）

簡易説明書（本書）（1 部）
保証書（1 部）
CD-ROM（1 枚）

　内容：取扱説明書

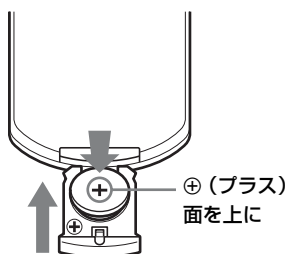
CD-ROM 取扱説明書の見かた

CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットしてください。しばらくすると自動的に選択画面が表示されます。自動的に表示されない場合は、CD-ROM 内の「index.htm」を手動で開いてください。
CD-ROM に収録されている取扱説明書などをご覧いただくには、コンピューターにソフトウェア Adobe Acrobat Reader 5.0 以上がインストールされている必要があります。

リモコンに電池を入れる

1　リチウム電池入れを引き出す。
図のように細い棒を差し込みながら、電池カバーを手前に引いてください。

2　リチウム電池をはめ込む。

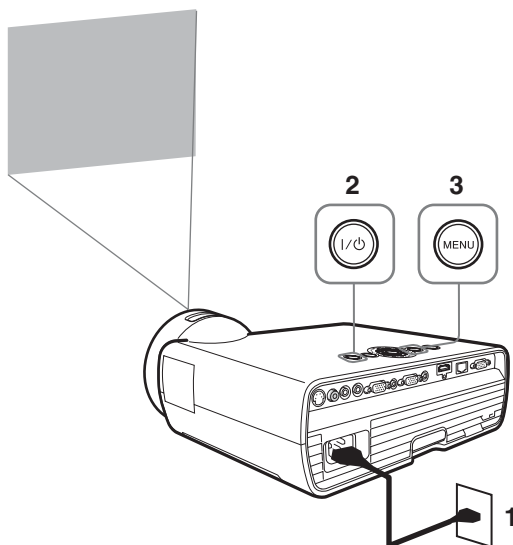
3　リチウム電池入れを差し込む。

⚠警告

電池については、「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

メニューの表示言語を切り替える

お買い上げ時は、メニュー画面やメッセージの表示言語が英語に設定されています。以下の手順で変更してください。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

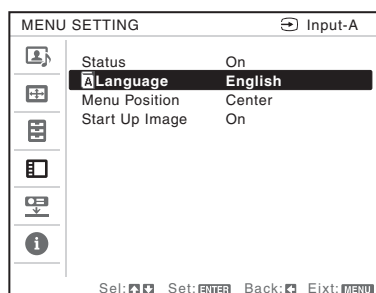
2 I/⏻ ボタンを押して、電源を入れる。

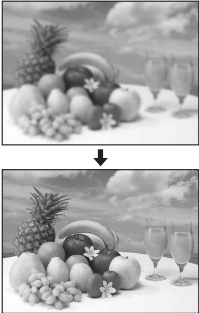
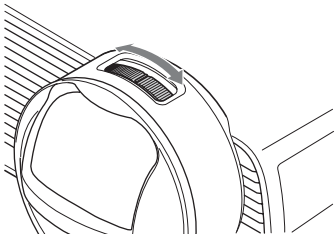
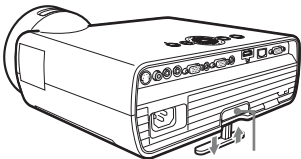
3 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

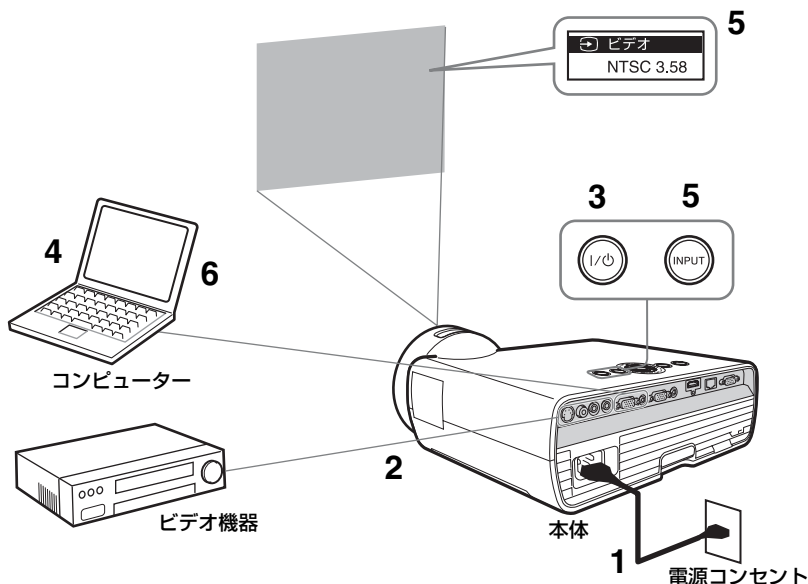
見えにくい場合は、画面のフォーカス、サイズ、位置を調整してください（15 ページ）。

4 表示言語を切り替える。

① ↑ または ↓ を押して、MENU SETTING（ メニュー設定）を選び、ENTER ボタンを押す。

② ↑ または ↓ を押して、「Language」（ 表示言語）を選び、ENTER ボタンを押す。

③ ↑/↓/←/→ を押して、表示言語を選び、ENTER ボタンを押す。

5 MENU ボタンを押し、メニュー画面を消す。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」をご覧ください。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する。

3 I/⏻ ボタンを押して、電源を入れる。

4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すたびに、映像が切り換わります。
INPUT ボタンを繰り返し押して、投写する映像を選択します。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。
（例）

Fn + F7

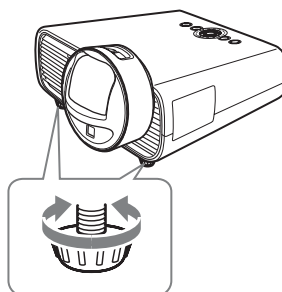
7 画面のフォーカス、位置を調整する（15 ページ）。

映像を調整する

画面のフォーカス （フォーカス）	画面の位置
	アジャスター調整ボタン

アジャスターによる微調整

脚を回して高さを微調整することができます。

アジャスターを使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

ご注意

- アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

投写画面の縦横比を変更する

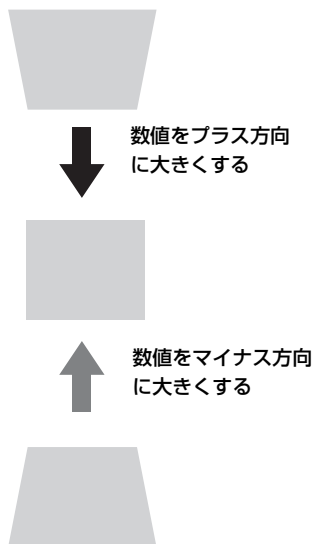
リモコンのASPECTボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの信号設定のアスペクトからも設定できます。

台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

通常は、自動的にオートキーストーン補正機能が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

1 リモコンのKEYSTONEボタンもしくは設置設定のVキーストーンを選び、調整メニューを表示する。
2 ↑/↓/←/→で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンのAPAボタンを押す。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。メニュー（初期設定）のスマートAPAで「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的にAPAを実行します。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

確認のメッセージが表示されます。
メッセージに従って、もう一度 I/⏻ ボタンを押してください。

2 電源コードを抜く。

手順 **1** のあと、しばらくの間本体を冷やすためにファンが回り続けますが、ファンの停止を待たずに電源コードを抜くこともできます。

確認のメッセージを消すには

本体またはリモコンの I/⏻ ボタン以外のボタンを押すか、しばらくの間何もボタンを押さないでいると消えます。

確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。

インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

I/⏻ ボタン

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	パワーセービング（ランプオフ）状態です。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか（21 ページ）。
6 回点滅	電源コードを抜き、I/⏻ ボタンが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアーフィルターカバーが確実に取り付けられていません（21 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（19 ページ）。

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。（18 ページ）
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E211（別売）をお使いください。

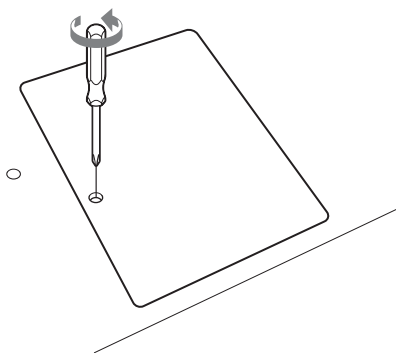
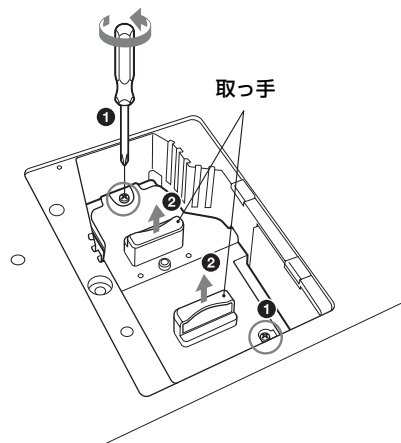
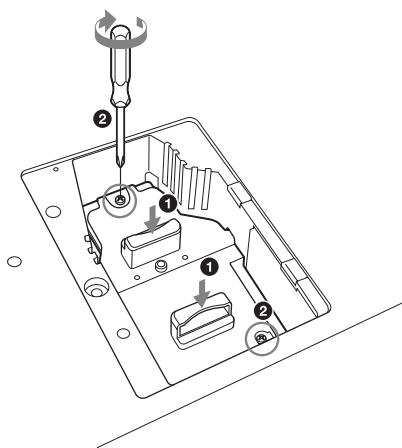
⚠警告

- 電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを充分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
- ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意

- ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1 本）をゆるめ、ランプカバーを開く。

3 ランプのネジ（2 本）をゆるめ、取っ手を持ってランプを取り出す。

4 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（2 本）を締める。**

5 **ランプカバーを閉じ、ネジ（1本）を締める。**

ご注意

ランプやランプカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 **電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。**

7 **ランプタイマーの初期化を行う。**

次回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。初期設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTERボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。

エアーフィルターを掃除する

投写画面にメッセージが表示された場合、エアーフィルターを掃除してください。エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

⚠注意

エアーフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

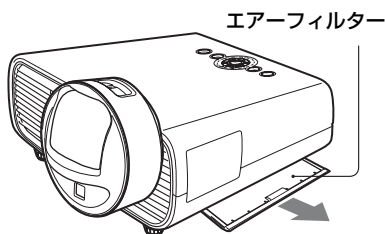
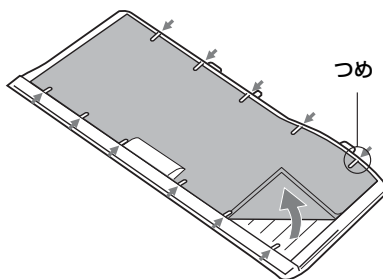
2 エアーフィルターカバーを引き出す。

3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

図のようにエアーフィルターを取りはずし、エアーフィルターを掃除機で掃除してください。

4 エアーフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

エアーフィルターが確実に装着されていないと、電源が入りません。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

CAUTION

About the LAN connector

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three **16 or 18 AWG** wires
Length	Minimum 1.5 m (4 ft. 11 in.), Less than 4.5 m (14 ft. 9 1/4 in.)
Rating	Minimum **10 A**, **125 V**

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name	:	SONY
Model	:	VPL-SX125, VPL-SW125
Responsible party	:	Sony Electronics Inc.
Address	:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:		858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For the Customers in Brazil only

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS

Após o uso, as pilhas e/ou baterias poderão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Bateria Primária

Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

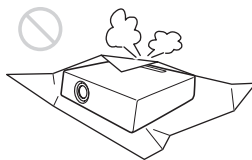
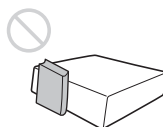
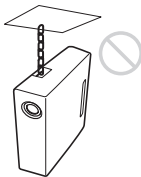
Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

Precautions

On safety

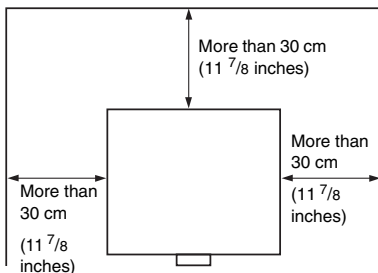
- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the adjuster when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the adjuster out.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult with qualified Sony personnel (charged).
- If the ventilation holes are blocked, internal heat builds up, and it may cause a fire or damage the unit. To allow adequate air circulation and prevent internal heat build-up, follow the items below:
- Leave space around the unit (page 5).

- Avoid using something to cover the ventilation holes (exhaust/intake).

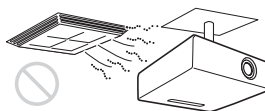
- Do not place the unit on surfaces such as an original packing sheet, soft cloth, papers, rugs, or scraps of paper. The ventilation holes may take in such materials.

- Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the picture muting function to cut off the picture.

- Do not use the Security bar for the purpose of preventing theft for transporting or installing the unit. If you lift the unit by the Security bar or hang the unit by this bar, it may cause the unit to fall and be damaged, and may result in personal injury.

For dealers

- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

On Installation

- When installing the unit, leave space between any walls, etc. and the unit as illustrated.

- Avoid using if the unit is tilted more than 15 degrees horizontally.

- Avoid using the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.

- Avoid installing the unit in a location subject to direct cool or warm air from an air-conditioner. Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

- Avoid installing the unit in a location near a heat or smoke sensor. Installing in such a location may cause malfunction of the sensor.

- Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it.

- When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set “High Altitude Mode” to “On” in the INSTALL SETTING menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

On cleaning the lens and the cabinet

- Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet before cleaning.
- If you rub on the unit with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the unit is exposed to volatile materials such as insecticide, or the unit is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the unit may deteriorate or the coating may come off.
- Do not touch the lens with bare hands.
- On cleaning the lens surface:
  Wipe the lens gently-with a soft cloth, such as a glass cleaning cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with water. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.
- On cleaning the cabinet:
  Clean the cabinet gently with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with mild detergent solution and wrung, followed by wiping with a soft dry cloth. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.

On Illumination

To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.

On LCD Projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.
Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

On Screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

On Fan

Since the projector is equipped with a fan inside to prevent internal temperature from rising, there may be some noise. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction. If, however, in a case of abnormal noise, consult with qualified Sony personnel.

On Lamp

The lamp used as a light source contains mercury that has high internal pressure. A high-pressure mercury lamp has the following characteristics:

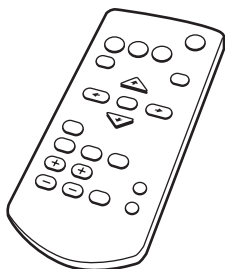
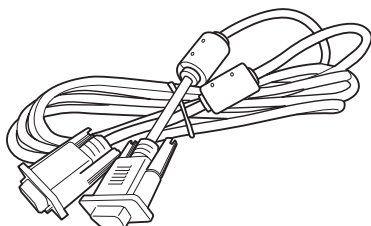
- Brightness of the lamp will be lowered as the elapse of time used.
- The lamp may break with a loud noise as a result of shock, damage, or deterioration caused by the elapse of time. The lamp may become unlit and may burn out.
- The lamp life varies with individual differences or usage conditions of each lamp. Therefore, it may break or will not light even before the specified replacement time.
- It may possibly break after the replacement time has elapsed. Replace the lamp with a new one as soon as possible if

a message displayed on the projected image, even if the lamp normally lights.

For carrying

This unit is precision equipment. When carrying the unit, do not subject the unit to shocks, or fall. It may damage the unit.

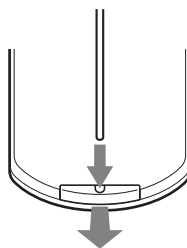
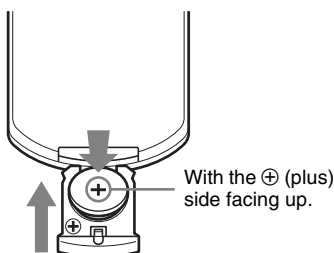
Checking the Supplied Accessories

RM-PJ7 Remote Commander (1)
Lithium battery (CR2025) (1)
The battery is already installed. Before using the remote commander, remove the insulation film.

AC power cord (1)
HD D-sub 15 pin cable (1.8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)

Quick Reference Manual (this manual) (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Using the CD-ROM Manuals

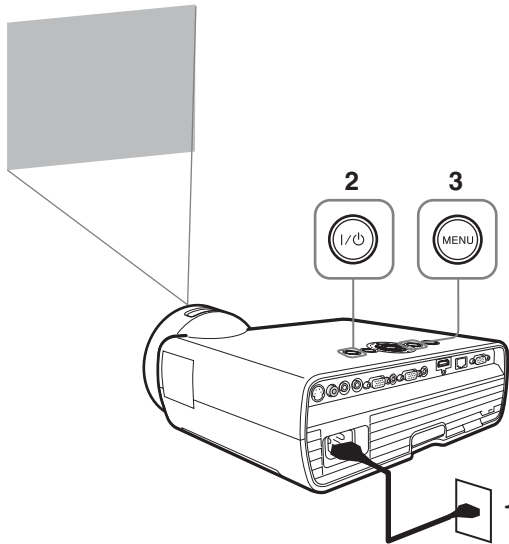
Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically in a few moments. Select the Operating Instructions you want to read. If the CD-ROM does not start automatically, open the "index.htm" file on the CD-ROM.
You must have Adobe Acrobat Reader 5.0 or higher installed in your computer to read the Operating Instructions stored on the CD-ROM.

Installing Batteries

1 Pull out the lithium battery compartment.
Pull out the battery compartment with a stick as shown in the illustration.

2 Insert a lithium battery.

3 Close the lithium battery compartment.

CAUTION
Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

Selecting the Menu Language

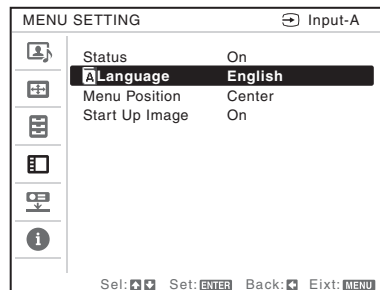
The factory setting for the language for displaying menus, messages, etc. is English.
To change the on-screen language, proceed as follows:

1 Plug in the AC power cord into a wall outlet.

2 Turn on the projector.
Press the I/⏻ key.

3 Press the MENU key to display the menu.
If the display cannot be properly seen, adjust the focus, size, and position of the projected image (page 11).

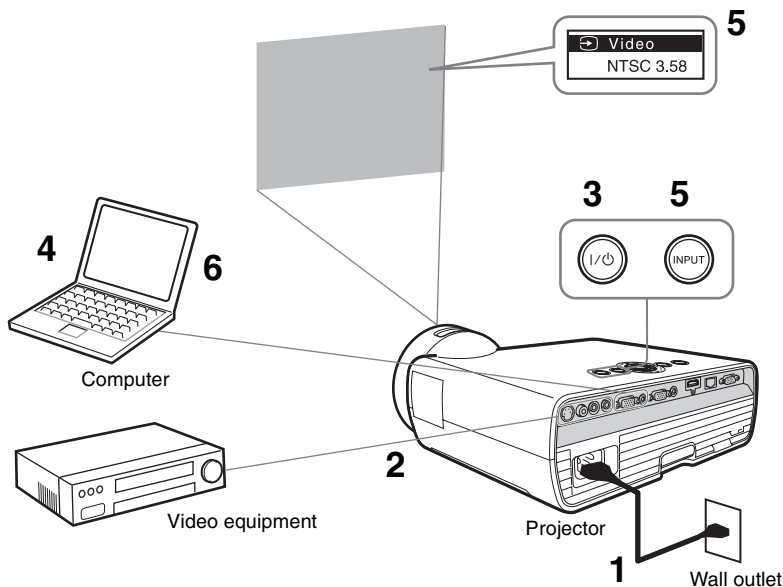
4 Select the menu language.

① Press the ↑ or ↓ key to select the MENU SETTING ( ) menu then press the ENTER key.

② Press the ↑ or ↓ key to select "Language ( )" then press the ENTER key.

③ Press the ↑/↓/←/→ key to select a language, then press the ENTER key.

5 Press the MENU key to turn off the menu screen.

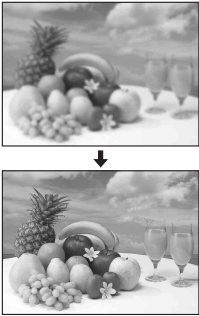
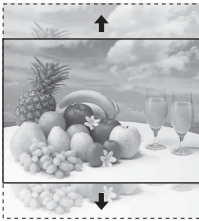
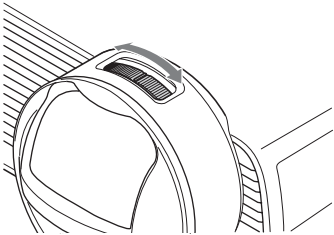
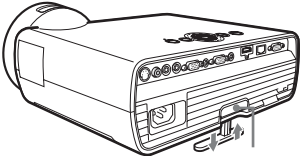
Projecting an Image

The size of a projected image depends on the distance between the projector and screen. Install the projector so that the projected image fits the screen size. For details on projection distances and projected image sizes, see “Projection Distance”.

1 Plug the AC power cord into the wall outlet.

2 Connect all equipment to the projector.

3 Press I/⏻ to turn on the unit.

4 Turn on the connected equipment.

5 Select the input source.
Each time you press the INPUT key on the projector, the input signal switches. Press the INPUT key repeatedly to select an image to be projected.

6 Switch your computer to output to external display by changing your computer’s setting.
How to switch the computer to output to the projector varies, depending on the type of computer.

(Example)

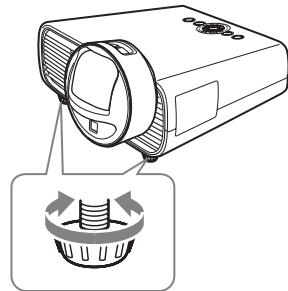
Fn + F7

7 Adjust the focus and position of the projected image (page 11).

Adjusting the Projected image

Focus	Position
	Adjuster adjustment button

Adjusting the tilt of the projector with the adjusters

You can adjust the height of the projector using the adjusters.
By changing the slope of the projector with adjusters, you can adjust the position of the projected image.

Notes

- Be careful not to let the projector down on your fingers.
- Do not push hard on the top of the projector with the adjuster extended. It may cause malfunction.

Changing the aspect ratio of the projected image

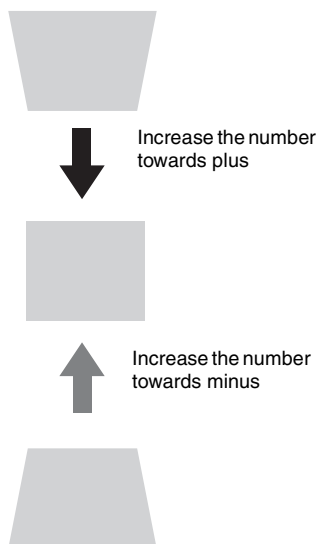
Press ASPECT on the remote commander to change the aspect ratio of the projected image. You can also change the setting in Aspect of the INPUT SETTING menu.

Correcting trapezoidal distortion of the projected image (Keystone feature)

Keystone feature may not work automatically when the screen is tilted. In this case, set keystone manually.

1 Press KEYSTONE on the remote commander or select V Keystone in the INSTALL SETTING menu.
2 Use ↑/↓/←/→ to set the value. The higher the setting, narrower the top of the projected image. The lower the setting, the narrower the bottom.

Note

Since the Keystone adjustment is an electronic correction, the image may be deteriorated.

Automatically adjusts Phase, Pitch and Shift of projected image while a signal is input from a computer (APA (Auto Pixel Alignment))

Press APA on the remote commander. Press again to cancel during the setting.
If Smart APA is set to On, executes APA automatically when a signal is input.

Turning Off the Power

1 Press the I/⏻ key on the main unit or the Remote Commander.

The message appears. Press it again according to the message.

2 Unplug the AC power cord from the wall outlet.

After step **1**, the fan continues to run for a while to reduce internal heat, however, you may also unplug the AC power cord before the fan stops.

To clear the confirmation message

The message disappears if you press any key other than the I/⏻ key on the main unit or the Remote Commander, or if you do not press any key for a while.

To turn off without displaying confirmation message

Hold the I/⏻ key on the main unit pressed for a few seconds.

Indicators

The indicators allow checking the status and notify you of abnormal operation of the projector. If the projector exhibits abnormal status, address the problem in accordance with the table below.

I/⏻ key

Status		Meaning/Remedies
Lights in red		The projector is in Standby mode.
Flashes in green		• The projector is ready to operate after having been turned on. • The lamp cools after the projector is turned off.
Lights in green		The projector's power is on.
Lights in orange		The projector is in Power Saving Mode (lamp cut off).
Flashes in red		The projector is in abnormal status. Symptoms are indicated by number of flashes. Address the problem in accordance with the following. If the symptom is shown again, consult with qualified Sony personnel.
	Flashes twice	The internal temperature is unusually high. Check the items below. • Check to see if nothing is blocking the ventilation holes. • Check to see if the air filter is not clogged. (page 17)
	Flashes six times	Unplug the AC power cord from a wall outlet. After checking that the I/⏻ key goes out, plug the power cord to a wall outlet again then turn on the projector.
	Other number of flashes	Consult with qualified Sony personnel.

LAMP/COVER indicator

Status		Meaning/Remedies
Flashes in red		Symptoms are indicated by number of flashes. Address the problem in accordance with the following.
	Flashes twice	The lamp cover or the air filter cover is not attached securely. (page 17)
	Flashes three times	The temperature of lamp is unusually high. Turn off the power and wait for lamp to cool then turn on the power again. If the symptom is shown again, the lamp may be burnt out. In such a case, replace the lamp with a new one (page 15).

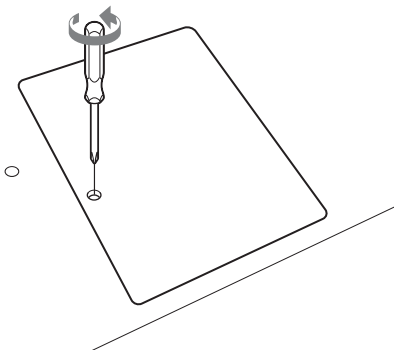
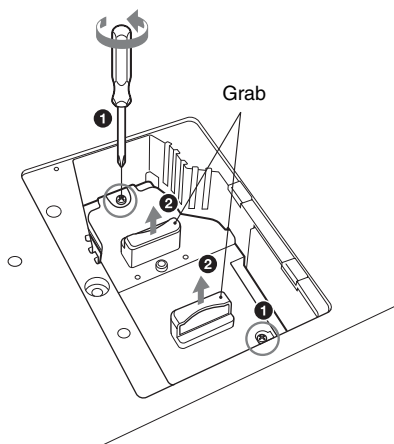
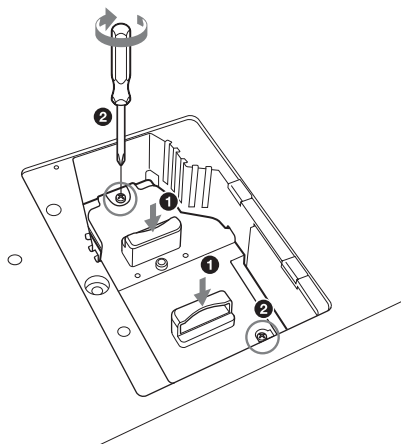
Replacing the Lamp

Replace the lamp with a new one if a message displayed on the projected image or the LAMP/COVER indicator notifies you to replace the lamp (page 14).
Use an LMP-E211 projector lamp (not supplied) for replacement.

Caution

- The lamp remains hot after the projector is turned off. **If you touch the lamp, you may burn your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour after turning off the projector for the lamp to cool sufficiently.**
- Do not allow any metallic or inflammable objects into the lamp replacement slot after removing the lamp, otherwise it may cause electrical shock or fire. Do not put your hands into the slot.
- **If the lamp breaks, contact qualified Sony personnel. Do not replace the lamp yourself.**
- When removing the lamp, be sure to pull it out straight, by holding the designated location. If you touch a part of the lamp other than the designated location, you may be burned or injured. If you pull out the lamp while the projector is tilted, the pieces may scatter if the lamp breaks any may cause injury.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from a wall outlet.

2 When the lamp has cooled sufficiently, open the lamp cover by loosening 1 screw.

3 Loosen the 2 screws on the lamp then pull out the lamp by its grab.

4 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place. Tighten the 2 screws.

5 Close the lamp cover and tighten the 1 screw.

Note

Be sure to install the lamp and Lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

6 Connect the AC power cord to a wall outlet and turn on the projector.

7 Reset the lamp timer for notification of the next replacement time.

Select “Lamp Timer Reset” on the SET SETTING menu then press the ENTER key. When a message appears, select “Yes” to reset the lamp timer.

Caution

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Telecommunications Industry Association (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

When a message appears on the projected image, clean the air filter.
If the dust cannot be removed from the air filter even after cleaning, replace the air filter with a new one.
For details on a new air filter, consult with qualified Sony personnel.

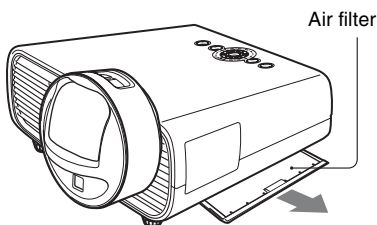
Caution

If you neglect to clean the air filter, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.

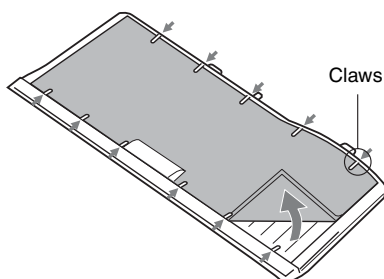
1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

2 Draw out the air filter cover.

3 Clean the air filter with a vacuum cleaner.

Remove the air filter as illustrated below then clean with the vacuum cleaner.

4 Attach the air filter cover to the unit.

Note

Be sure to attach the air filter cover firmly. If not, the projector cannot be turned on.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT
CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil.
En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION
À propos du connecteur LAN

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port.

AVERTISSEMENT

1 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

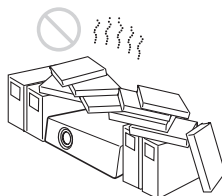
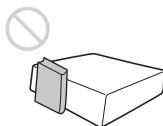
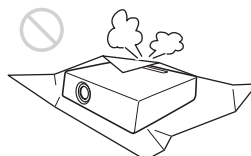
Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

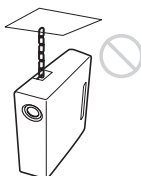
Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation ; l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prenez garde de vous coincer les doigts dans le dispositif de réglage lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. N'exercez pas de pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le dispositif de réglage est sorti.
- Évitez d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension, car cela risquerait de causer un court-circuit et un accident matériel.
- Prenez garde de vous coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lorsque vous déplacez le projecteur alors qu'il est installé sur le plancher.
- Ne transportez pas le projecteur sans avoir d'abord fermé le cabinet et le couvercle.
- N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle qu'un radiateur ou un conduit d'air, ou dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, très poussiéreux ou humide, ou sujet à des vibrations mécaniques ou chocs.
- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser à un technicien Sony agréé (service payant).
- Si les orifices de ventilation sont obstrués, la chaleur interne augmente et peut entraîner un incendie ou endommager l'appareil. Pour assurer la circulation correcte de l'air et éviter toute surchauffe interne, appliquez les recommandations suivantes :

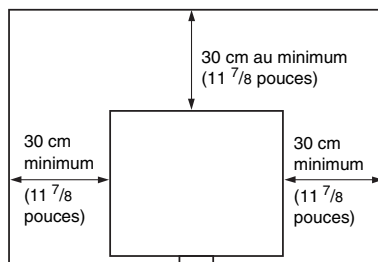
- Laissez de l'espace libre autour de l'appareil (page 4).

- Évitez de recouvrir les orifices de ventilation (évacuation/admission).

- Ne posez pas l'appareil sur des surfaces telles que sa feuille d'emballage, un linge doux, des journaux, un tapis ou des bouts de papier. Ces matériaux risqueraient d'obstruer les orifices de ventilation.

FR

• Ne placez pas des objets juste devant l'objectif pour éviter de bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque de les endommager. Utilisez la touche de masquage d'image pour couper l'image.

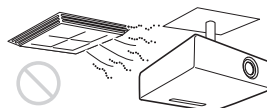
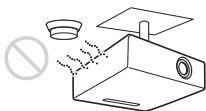
• N'utilisez pas la barre de sécurité comme antivol lors du transport ou de l'installation de l'appareil. Si vous soulevez ou accrochez l'appareil au moyen de la barre de sécurité, il risque de tomber et d'être endommagé, voire de provoquer des blessures.

Pour les revendeurs

• Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

Lors de l'installation

• Lorsque vous installez l'appareil, laissez un espace entre celui-ci et les murs, etc. comme illustré.

• Évitez d'utiliser l'appareil s'il est incliné de plus de 15 degrés par rapport à l'horizontale.

• Évitez d'utiliser l'appareil dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.

• Évitez d'installer l'appareil dans un endroit exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur. L'installation dans un tel lieu peut engendrer une défaillance de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.

- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit situé à proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée. Cela risquerait de provoquer une défaillance du détecteur.

- N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur.

- Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu RÉGLAGE D'INSTALLATION. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.

Nettoyage de l'objectif et du boîtier

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur avant de procéder au nettoyage.
- Si vous frottez l'appareil avec un chiffon sale, vous risquez de le rayer.
- Si l'appareil est exposé à des substances volatiles telles que des insecticides, ou en cas de contact prolongé avec un produit en caoutchouc ou en résine vinylique, l'appareil risque de se détériorer ou de perdre son revêtement.
- Ne touchez pas l'objectif avec les mains nues.
- Nettoyage de la surface de la lentille :
  Essuyez délicatement l'objectif avec un chiffon doux, notamment un chiffon de nettoyage pour vitres. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement humide. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.
- Nettoyage du boîtier :
  Nettoyez délicatement le boîtier avec un chiffon doux. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente neutre et tordu. Ensuite, essuyez avec un chiffon doux et sec. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

Éclairage

Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.
Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

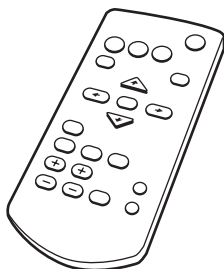
Ventilateur

Le projecteur renferme un ventilateur qui empêche la température interne d'augmenter et qui peut donc générer du bruit. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'une défaillance. Toutefois, en cas de bruit anormal, adressez-vous à un technicien Sony agréé.

Lampe

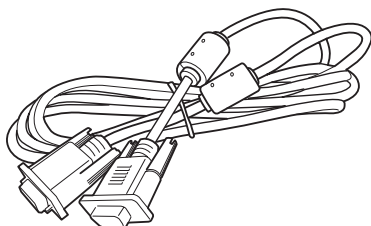
La lampe utilisée comme source de lumière contient du mercure dont la pression interne est très élevée. Une lampe au mercure à haute pression présente les caractéristiques suivantes :

- La luminosité de la lampe diminue au fil de son utilisation.
- La lampe peut cesser de fonctionner avec un bruit violent sous l'effet d'un choc, d'un dégât ou de la détérioration causée par le temps. La lampe peut cesser de briller et sauter.
- La longévité est propre à chaque lampe et varie selon ses conditions d'utilisation. Il est donc possible qu'elle cesse de fonctionner ou qu'elle ne brille plus, même avant le terme de la période de remplacement spécifiée.
- Elle peut aussi cesser de fonctionner au-delà de la période de remplacement prévue. Remplacez la lampe par une neuve dès que possible si un message apparaît sur l'image projetée, même si la lampe brille toujours normalement.

Transport

Cet appareil est un équipement de précision. Lors du transport de l'appareil, ne le soumettez pas à des chocs ou ne le laissez tomber. Ceci peut endommager l'appareil.

Vérification des accessoires fournis

Télécommande RM-PJ7 (1)
Pile au lithium (CR2025) (1)
La pile est déjà en place. Avant d'utiliser la télécommande, retirez la feuille de plastique isolante.

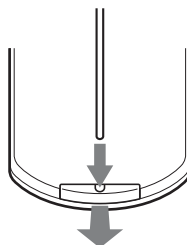
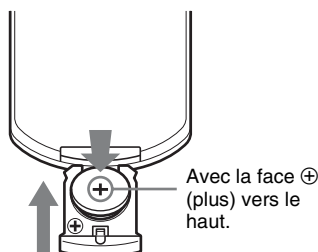
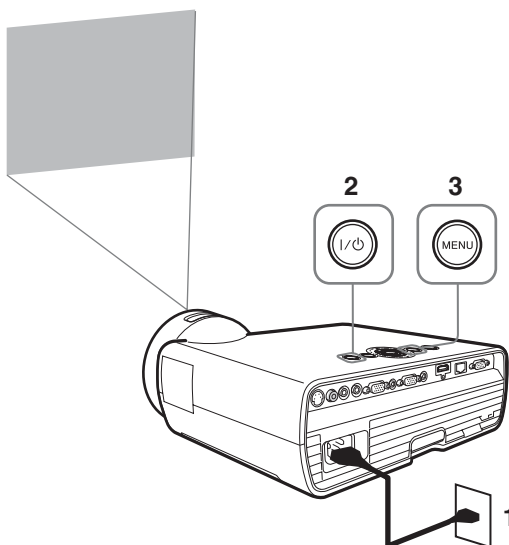
Cordon d'alimentation secteur (1)
Câble HD D-sub à 15 broches (1,8 m) (1)
(1-967-100-11/Sony)

Guide de référence rapide (ce manuel) (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur. Le CD-ROM démarre automatiquement quelques instants plus tard. Sélectionnez le Mode d'emploi que vous souhaitez lire. Si le CD-ROM ne démarre pas automatiquement, ouvrez le fichier « index.htm » sur le CD-ROM.
Pour lire le Mode d'emploi enregistré sur le CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 ou ultérieur doit être installé sur votre ordinateur.

Installation des piles

1 Retirez le compartiment de la pile au lithium.

Retirez le compartiment de la pile à l'aide d'une tige, comme illustré sur le schéma.

2 Insérez une pile au lithium.

3 Fermez le compartiment de la pile au lithium.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie.
Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

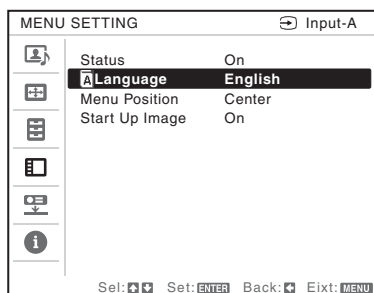
Sélection de la langue de menu

L'anglais est défini d'origine comme langue d'affichage des menus, des messages, etc. Pour changer la langue des menus à l'écran, procédez comme suit :

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur à la prise murale.

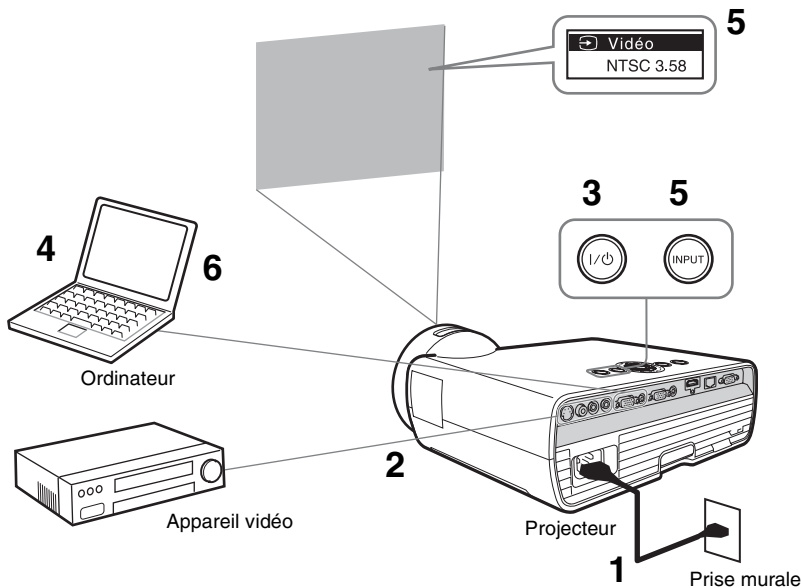
2 Mettez le projecteur sous tension. Appuyez sur la touche **I/⏻**.

3 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu.
Si l'affichage n'est pas net, réglez la mise au point, la taille et la position de l'image projetée (page 10).

4 Sélectionnez la langue des menus.
① Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner le menu RÉGLAGE DE MENU ( ), puis appuyez sur la touche ENTER.
② Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner « Langage ( ) », puis appuyez sur la touche ENTER.

③ Appuyez sur la touche ↑/↓/←/→ pour sélectionner la langue, puis appuyez sur la touche ENTER.

5 Appuyez sur la touche MENU pour désactiver l'écran de menu.

Projection d'une image

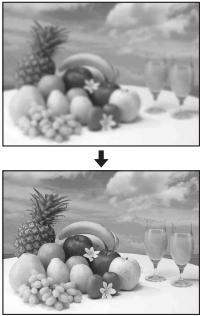
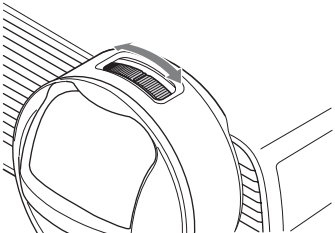
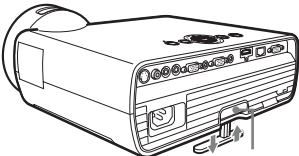
La taille de l'image projetée dépend de la distance entre le projecteur et l'écran. Installez le projecteur de façon à adapter l'image projetée à la taille de l'écran. Pour plus d'informations sur les distances de projection et les tailles de l'image projetée, reportez-vous à « Distance de projection ».

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur à la prise murale.

2 Raccordez tous les appareils au projecteur.

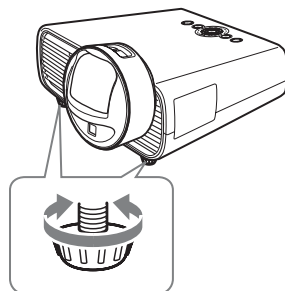
3 Appuyez sur I/⏻ pour mettre l'unité sous tension.

4 Mettez sous tension l'appareil raccordé.

5 Sélectionnez la source d'entrée.
Chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT du projecteur, vous permutez le signal d'entrée. Appuyez plusieurs fois sur la touche INPUT pour sélectionner une image à projeter.

6 Faites basculer la sortie de l'ordinateur vers l'affichage externe en modifiant les paramètres de l'ordinateur.
La procédure à suivre pour diriger la sortie de l'ordinateur vers le projecteur dépend du type d'ordinateur.

(Exemple)

Fn + F7

7 Réglez la mise au point et la position de l'image projetée (page 10).

Réglage de l’image projetée

Mise au point	Position
	Bouton de réglage des supports réglables

Réglage de l’inclinaison du projecteur à l’aide des supports réglables

Vous pouvez régler la hauteur du projecteur à l’aide des supports réglables.
En modifiant la pente du projecteur à l’aide des supports réglables, il vous est possible de régler la position de l’image projetée.

Remarques

- Veillez à ne pas abaisser le projecteur sur vos doigts.
- Évitez d’appuyer fortement sur le dessus de l’appareil lorsque les supports réglables sont déployés. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement.

Modification du rapport de format de l'image projetée

Appuyez sur ASPECT sur la télécommande pour modifier le rapport de format de l'image projetée. Vous pouvez également modifier le réglage dans Aspect du menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.

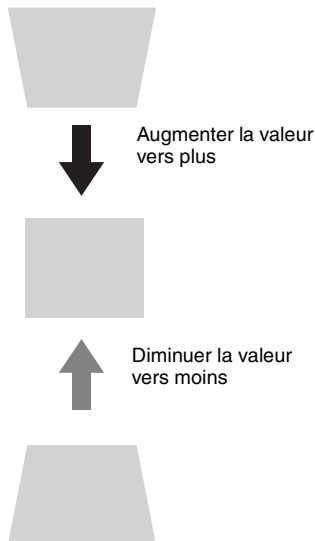
Correction de la distorsion trapézoïdale de l'image projetée (fonction Trapèze)

Il se peut que la fonction Trapèze ne fonctionne pas automatiquement lorsque l'écran est incliné. Dans ce cas, réglez manuellement le trapèze.

1 Appuyez sur la touche KEYSTONE de la télécommande ou sélectionnez Trapèze V dans le menu RÉGLAGE D'INSTALLATION.

2 Utilisez ↑/↓/←/→ pour régler la valeur. Plus la valeur est élevée, plus le haut de l'image projetée est étroit. Plus la valeur est basse, plus le bas est étroit.

Remarque

Étant donné que le réglage de Trapèze est une correction électronique, l'image peut être altérée.

Permet de régler automatiquement la Phase, le Pas et le Déplacement de l'image projetée lors de la réception d'un signal d'ordinateur (APA (alignement automatique des pixels))

Appuyez sur la touche APA de la télécommande. Appuyez à nouveau sur la touche pour annuler en cours de réglage.
Si APA intelligent est sur On, vous pouvez lancer automatiquement l'APA en présence d'un signal en entrée.

Mise hors tension

1 Appuyez sur la touche I/⏻ de l’appareil principal ou de la télécommande.
Le message apparaît. Appuyez à nouveau sur cette touche en fonction du message.

2 Débranchez le cordon d’alimentation secteur de la prise murale.
Après l’étape **1**, le ventilateur continue de tourner pendant un certain temps pour diminuer la chaleur interne, cependant, vous pouvez débrancher le cordon d’alimentation secteur avant l’arrêt du ventilateur.

Pour effacer le message de confirmation

Le message disparaît si vous appuyez sur une touche autre que la touche I/⏻ de l’appareil principal ou de la télécommande, ou encore si vous n’appuyez sur aucune touche pendant un certain temps.

Pour mettre hors tension sans afficher de message de confirmation

Maintenez la touche I/⏻ de l’appareil principal enfoncée pendant quelques secondes.

Témoins

Les témoins vous permettent de vérifier l'état du projecteur et vous avertissent d'un éventuel dysfonctionnement.
Si le projecteur indique un état anormal, reportez-vous au tableau ci-dessous afin de remédier au problème.

Touche I/⏻

État		Signification/Solutions
S'allume en rouge		Le projecteur est en mode de veille.
Clignote en vert		• Le projecteur est prêt à fonctionner dès qu'il est sous tension. • La lampe refroidit après la mise hors tension du projecteur.
S'allume en vert		Le projecteur est sous tension.
S'allume en orange		Le projecteur est en Mode économie (lampe éteinte).
Clignote en rouge		L'état du projecteur est anormal. Les symptômes sont indiqués par le nombre de clignotements. Conformez-vous aux instructions suivantes afin de remédier au problème. Si le symptôme persiste, consultez un technicien Sony agréé.
	Clignote à deux reprises	La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. Vérifiez les éléments ci-dessous. • Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Assurez-vous que le filtre à air n'est pas colmaté. (page 16)
	Clignote à six reprises	Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale. Après avoir confirmé l'extinction de la touche I/⏻, rebranchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale, puis mettez le projecteur sous tension.
	Autre nombre de clignotements	Consultez un technicien Sony agréé.

Témoin LAMP/COVER

État		Signification/Solutions
Clignote en rouge		Les symptômes sont indiqués par le nombre de clignotements. Conformez-vous aux instructions suivantes afin de remédier au problème.
	Clignote à deux reprises	Le couvercle de lampe ou celui du filtre à air n'est pas correctement fixé. (page 16)
	Clignote à trois reprises	La température de la lampe est anormalement élevée. Mettez le projecteur hors tension et attendez que la lampe refroidisse, puis remettez-le sous tension. Si le symptôme réapparaît, la lampe est peut-être grillée. Dans ce cas, remplacez-la par une neuve (page 14).

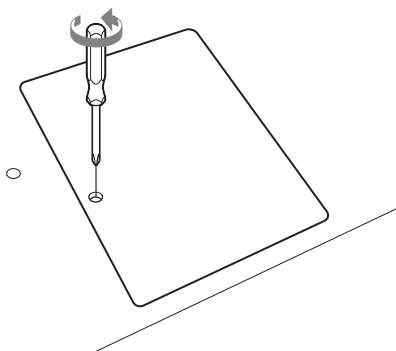
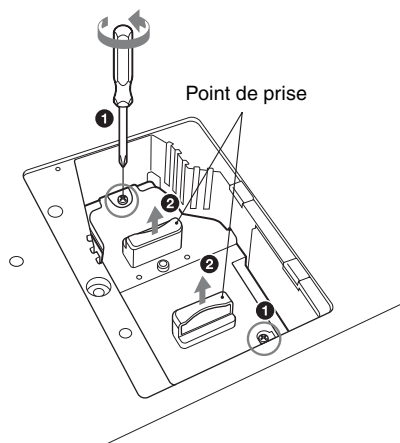
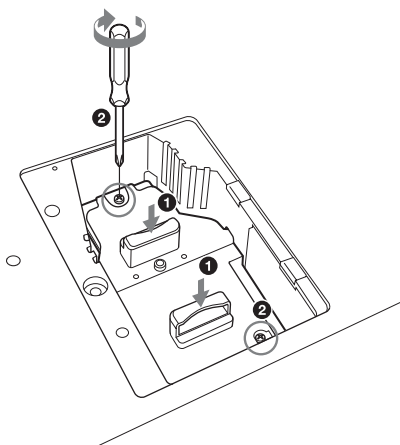
Remplacement de la lampe

Remplacez la lampe par une neuve si un message s'affiche sur l'image projetée ou si le témoin LAMP/COVER vous recommande de remplacer la lampe (page 13).
Utilisez une lampe de rechange pour projecteur LMP-E211 (non fournie).

Mise en garde

- La lampe reste chaude après la mise hors tension du projecteur. **Ne la touchez pas, car vous pourriez vous brûler les doigts. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure après la mise hors tension du projecteur pour lui permettre de refroidir suffisamment.**
- Assurez-vous de ne pas introduire des objets métalliques ou inflammables dans la fente de remplacement de la lampe après avoir retiré celle-ci afin d'éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie. N'insérez pas les mains dans la fente.
- **Si la lampe se casse, contactez un technicien Sony agréé. Ne remplacez pas la lampe vous-même.**
- Quand vous retirez la lampe, veillez à l'extraire en ligne droite, en la tenant par le point désigné. Tout contact avec une partie de la lampe autre que le point désigné peut provoquer des brûlures ou des blessures. Si vous retirez la lampe quand le projecteur est incliné et qu'elle se casse, vous risquez d'être blessé par des projections de verre.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

2 Lorsque la lampe a suffisamment refroidi, ouvrez le couvercle de lampe en desserrant 1 vis.

3 Desserrez les 2 vis de la lampe, puis extrayez la lampe par son point de prise.

4 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place. Serrez les 2 vis.

5 Fermez le couvercle de lampe et serrez la vis.

Remarque

Assurez-vous de remettre solidement en place la lampe et le couvercle de lampe dans leur position initiale. Sinon, le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

6 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale et mettez le projecteur sous tension.

7 Réinitialisez la durée de lampe pour être informé du nombre d'heures d'utilisation.

Sélectionnez « Réinit. durée lampe » dans le menu RÉGLAGE, puis appuyez sur la touche ENTER. Quand un message apparaît, sélectionnez « Oui » pour réinitialiser la durée de lampe.

Mise en garde

Mettre à disposition de la lampe usagée

Pour les clients aux États-Unis

La lampe dans ce produit contient du mercure. La disposition de ces matériaux peut être réglementée suite à des considérations environnementales. Pour obtenir des informations de disposition ou de recyclage, veuillez communiquer avec vos autorités locales ou la Telecommunications Industry Association (www.eiae.org).

Nettoyage du filtre à air

Quand un message apparaît sur l'image projetée, nettoyez le filtre à air.
S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, même après un nettoyage, remplacez ce dernier par un neuf.
Pour plus d'informations sur les nouveaux filtres à air, contactez un technicien Sony agréé.

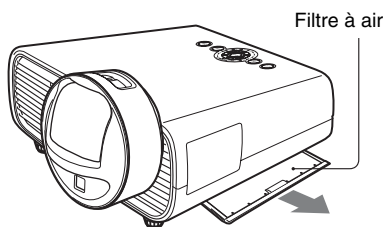
Mise en garde

Si vous omettez de nettoyer le filtre à air, des poussières peuvent s'accumuler et le colmater. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et provoquer un mauvais fonctionnement ou un incendie.

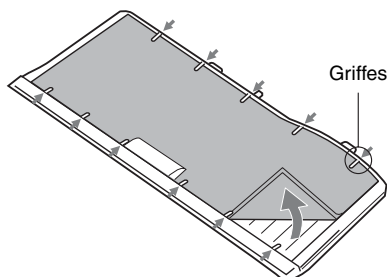
1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

2 Extrayez le couvercle de filtre à air.

3 Nettoyez le filtre à air à l'aide d'un aspirateur.

Retirez le filtre à air comme illustré ci-dessous, puis nettoyez à l'aide de l'aspirateur.

4 Fixez le couvercle de filtre à air à l'appareil.

Remarque

Veillez à fixer correctement le couvercle de filtre à air. Sinon, le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA
ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

PRECAUCIÓN

Acerca del conector LAN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva.

ADVERTENCIA

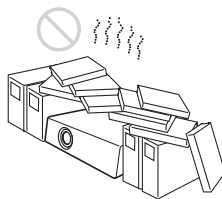
1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

Para los clientes de Europa

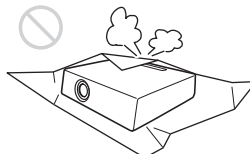
El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Precauciones

Seguridad

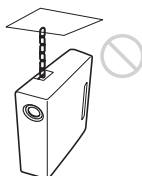
- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador cuando ajuste la altura de la unidad. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior de la unidad cuando el ajustador esté fuera.
- Evite utilizar un cable prolongador con un bajo límite de tensión, ya que puede producir cortocircuitos e incidentes físicos.
- No se atrape los dedos entre la unidad y la superficie del suelo al mover un proyector instalado en el suelo.
- No transporte el proyector guardado en su estuche y con la tapa abierta.
- No instale la unidad en una ubicación cercana a fuentes de calor tales como radiadores o conducciones de aire, ni en un lugar sujeto a la luz directa del sol, demasiado polvo o humedad, vibraciones mecánicas o golpes.
- No monte en ningún caso el proyector en el techo ni lo mueva sin la ayuda de otra persona. Asegúrese de consultar con personal especializado (de pago) de Sony.
- Si se bloquean los orificios de ventilación, el calor interno aumentará y esto podría provocar un incendio o dañar la unidad. Con el fin de facilitar una circulación de aire adecuada y evitar el recalentamiento interno, siga los consejos que se indican a continuación:

- Deje espacio alrededor de la unidad (página 4).

- Procure no utilizar ningún objeto que cubra los orificios de ventilación (salida/ entrada de aire).

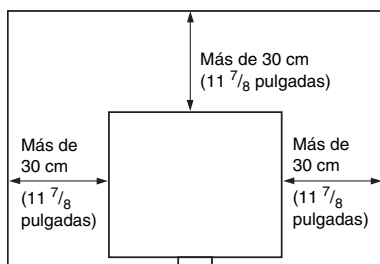
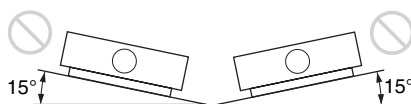
- No coloque la unidad sobre superficies tales como partes del embalaje original, paños suaves, papeles, cojines o trozos de papel. Dichos materiales podrían pegarse a los orificios de ventilación.

ES

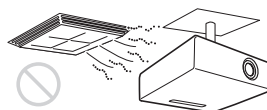
- No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla de función de apagado de la imagen para interrumpir la imagen.

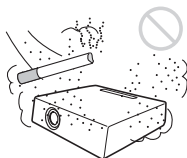
- No utilice la barra de seguridad para evitar robos durante el transporte o la instalación de la unidad. Si eleva la unidad o la deja suspendida mediante la barra de seguridad, es posible que la unidad se caiga y se dañe, asimismo, podría provocar daños personales.

Para los distribuidores

- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

Sobre la instalación

- Cuando instale la unidad, deje espacio entre cualquier pared o similar y la unidad como se muestra en la ilustración.

- Evite utilizar la unidad si está inclinada más de 15 grados en posición horizontal.

- Evite utilizar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.

- Evite instalar la unidad en lugares expuestos a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización. Si se instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o a un aumento de temperatura.

- Evite instalar la unidad en una ubicación cercana a un sensor de calor o de humo. Si se instala en una ubicación de estas características, podría provocar un fallo de funcionamiento del sensor.

- Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente.

- Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú AJUSTE INSTALACIÓN en “Sí”. Si no establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Limpieza del objetivo y de la carcasa

- Asegúrese de desconectar el cable de alimentación de CA de la toma de corriente de CA antes de limpiar la unidad.
- Si frota la unidad con un paño sucio, la carcasa podría rayarse.
- Si la unidad se expone a materiales volátiles, como insecticidas, o si está en contacto con algún producto de goma o resina de vinilo durante un período de tiempo prolongado, la unidad podría deteriorarse o el recubrimiento podría desprenderse.
- No toque el objetivo con las manos desprotegidas.
- Acerca de la limpieza de la superficie del objetivo:
  Limpie suavemente el objetivo con un paño suave, como una gamuza. Las manchas resistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido con agua. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.
- Acerca de la limpieza de la carcasa:
  Limpie la carcasa suavemente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido en una solución detergente neutra previamente escurrido y, a continuación, pasando un paño suave y seco. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

Iluminación

Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.

Proyector LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento.
Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Ventilador

Es posible que se produzca ruido, ya que el proyector está equipado con un ventilador en su interior para evitar que la temperatura

interna aumente. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento. Si, no obstante, se produce un ruido anómalo, consulte con personal especializado de Sony.

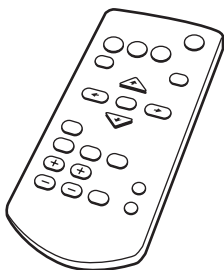
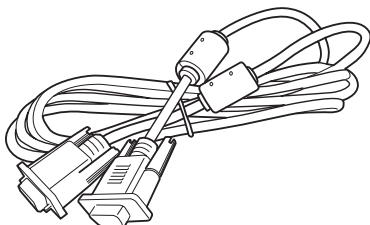
Lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz contiene mercurio a una presión interna elevada. Una lámpara de mercurio a alta presión posee las siguientes características:
- El brillo de la lámpara decrecerá según el tiempo de uso transcurrido.
- Es posible que la lámpara se rompa emitiendo un sonido fuerte como resultado de un golpe, daños o el deterioro causado por el paso del tiempo. Es posible que la lámpara se apague y se queme.
- La vida útil de la lámpara varía en función de las diferencias individuales o de las condiciones de uso de cada lámpara. Por lo tanto, podría romperse o no iluminar incluso antes de la fecha de sustitución especificada.
- También es posible que se rompa una vez transcurrida la fecha de sustitución. Sustituya la lámpara por una nueva tan rápido como sea posible si aparece un mensaje en la imagen proyectada, incluso si la lámpara aún se ilumina con normalidad.

Transporte

Esta unidad es un producto de precisión. Al transportar la unidad, no la someta a impactos ni deje que se caiga, ya que podría estropearse.

Comprobación de los accesorios suministrados

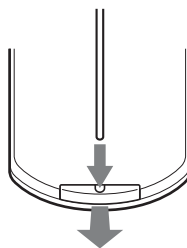
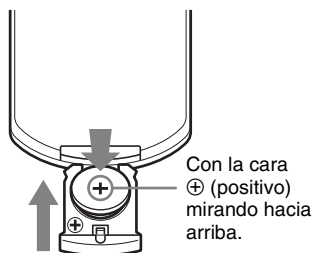
Mando a distancia RM-PJ7 (1)
Pila de litio (CR2025) (1)
La pila ya se suministra instalada. Antes de usar el mando a distancia, retire la película aislante.

Cable de alimentación de CA (1)
Cable HD D-sub de 15 contactos (1,8 m) (1)
(1-967-100-11/Sony)

Manual de referencia rápida (este manual) (1)
Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)

Usar los manuales del CD-ROM

Inserte el CD-ROM suministrado en la unidad de CD-ROM del ordenador y, al cabo de unos momentos, se iniciará automáticamente. Seleccione el manual de instrucciones que desee leer. Si el CD-ROM no se inicia automáticamente, abra el archivo "index.htm" del CD-ROM.
Para poder leer el manual de instrucciones almacenado en el CD-ROM, debe tener el software Adobe Acrobat Reader 5.0 o superior instalado en el ordenador.

Instalación de las pilas

1 Extraiga el compartimento de la pila de litio.

Extraiga el compartimento de la pila de litio con una varilla, tal y como muestra la ilustración.

2 Inserte una pila de litio.

3 Cierre el compartimento de la pila de litio.

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Selección del idioma del menú

El idioma predeterminado de fábrica para visualizar los menús, mensajes, etc. es el inglés. Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, haga lo siguiente:

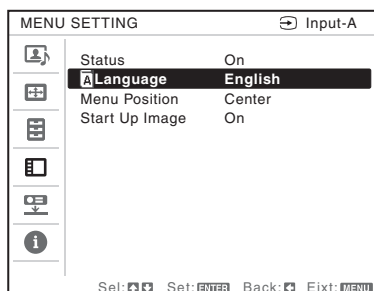
1 Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared.

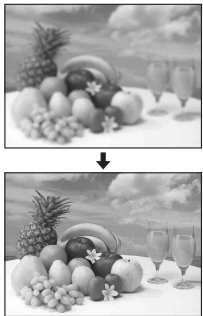
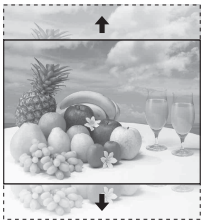
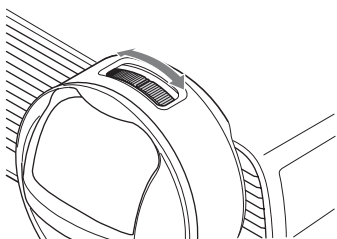
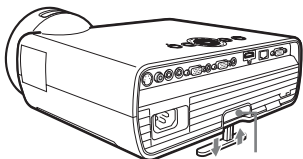
2 Encienda el proyector.
Pulse la tecla I/⏻.

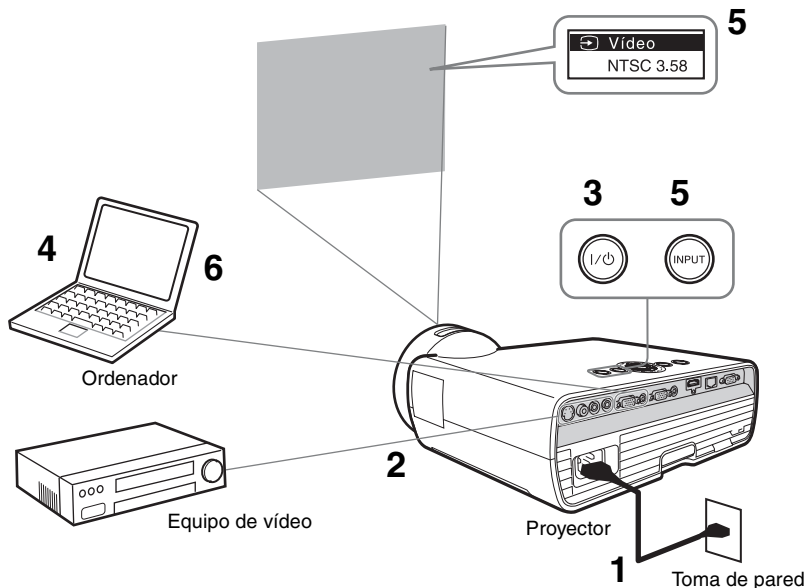
3 Pulse la tecla MENU para visualizar el menú.
Si la pantalla no se visualiza correctamente, ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada (página 10).

4 Seleccione el idioma del menú.

① Pulse la tecla ↑ o ↓ para seleccionar el menú AJUSTE DE MENÚ ( ) y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

② Pulse la tecla ↑ o ↓ para seleccionar “Idioma ( )” y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

③ Pulse la tecla ↑/↓/←/→ para seleccionar un idioma y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

5 Pulse la tecla MENU para desactivar la pantalla de menú.

Proyección de una imagen

El tamaño de una imagen proyectada depende de la distancia existente entre el proyector y la pantalla. Instale el proyector de modo que la imagen proyectada se ajuste al tamaño de la pantalla. Para obtener más información sobre las distancias de proyección y los tamaños de las imágenes proyectadas, consulte “Distancia de proyección”.

1 Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared.

2 Conecte todos los equipos al proyector.

3 Pulse I/⏻ para encender la unidad.

4 Encienda el equipo conectado.

5 Seleccione la fuente de entrada.
Cada vez que se pulsa la tecla INPUT en el proyector, la señal de entrada cambia. Pulse la tecla INPUT varias veces para seleccionar la imagen que se va a proyectar.

6 Cambie la configuración del ordenador para conmutar la salida hacia una pantalla externa.
La manera de conmutar la salida del ordenador hacia el proyector variará en función del tipo de ordenador.

(Ejemplo)

Fn + F7

7 Ajuste el enfoque y la posición de la imagen proyectada (página 10).

Ajuste de la imagen proyectada

Enfoque	Posición
	Botón de ajuste del ajustador

Ajuste de la inclinación del proyector con el ajustador

Puede ajustar la altura del proyector con la ayuda de los ajustadores.
Al cambiar la inclinación del proyector con los ajustadores, puede modificar la posición de la imagen proyectada.

Notas

- Tenga cuidado de no dejar caer el proyector sobre los dedos.
- No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior del proyector cuando el ajustador esté extendido. Puede provocar una avería.

Cambio de la relación de aspecto de la imagen proyectada

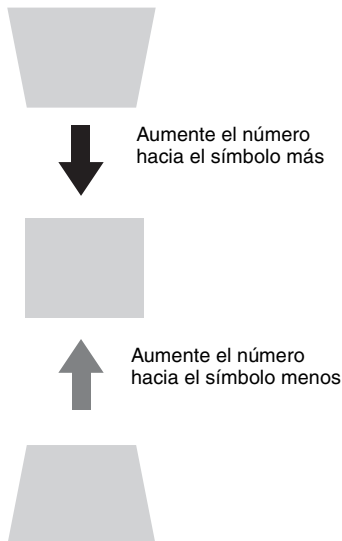
Pulse ASPECT en el mando a distancia para cambiar la relación de aspecto de la imagen proyectada. También puede modificar la configuración en la opción Aspecto, en el menú AJUSTE DE ENTRADA.

Corrección de la distorsión trapezoidal de la imagen proyectada (función Trapezoide)

Es posible que la función Trapezoide no se ejecute automáticamente si la pantalla está inclinada. En este caso, deberá definirla manualmente.

1 Pulse KEYSTONE en el mando a distancia o seleccione Trapezoide V en el menú AJUSTE INSTALACIÓN.
2 Ajuste el valor con ↑/↓/←/→. Cuanto mayor sea el ajuste, más estrecha será la parte superior de la imagen proyectada. Cuanto menor sea el ajuste, más estrecha será la parte inferior.

Nota

Puesto que el ajuste Trapezoide es una corrección electrónica, es posible que la imagen se deteriore.

Ajusta automáticamente la Fase, el Pitch y el Desplazamiento de la imagen proyectada cuando se recibe una señal de un ordenador (APA (Alineación automática de píxeles))

Pulse APA en el mando a distancia. Púlselo de nuevo para cancelar el ajuste.
Si APA inteligente está en Sí, la APA se ejecuta automáticamente cuando se recibe una señal.

Apagado de la alimentación

1 Pulse la tecla I/⏻ de la unidad principal o del mando a distancia.

Aparece el mensaje. Vuelva a pulsarla según indique el mensaje.

2 Desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.

Después del paso **1**, el ventilador continúa funcionando durante un tiempo para reducir el calor interno, aunque puede desconectar el cable de alimentación de CA antes de que se detenga el ventilador.

Para borrar el mensaje de confirmación

El mensaje desaparecerá si pulsa cualquier tecla distinta a la tecla I/⏻ de la unidad principal o del mando a distancia, o bien si no pulsa ninguna tecla durante un momento.

Para desactivar sin que aparezca el mensaje de confirmación

Mantenga pulsada la tecla I/⏻ en la unidad principal durante unos segundos.

Indicadores

Los indicadores permiten comprobar el estado y le notifican el funcionamiento anómalo del proyector.
Si el proyector muestra un estado anómalo, resuelva el problema de acuerdo con la tabla siguiente.

Tecla I/⏻

Estado		Significado/Soluciones
Se ilumina en rojo		El proyector está en modo Espera.
Parpadea en verde		• El proyector está preparado para funcionar una vez que se haya encendido. • La lámpara se enfría después de haber apagado el proyector.
Se ilumina en verde		La alimentación del proyector está encendida.
Se ilumina en naranja		El proyector está en Ahorro energía (la lámpara se apaga).
Parpadea en rojo		El proyector se encuentra en un estado anómalo. Los síntomas se indican mediante un número de parpadeos. Resuelva el problema de acuerdo con las indicaciones siguientes. Si vuelve a mostrar este síntoma, consulte con personal especializado de Sony.
	Parpadea dos veces	La temperatura interna es anormalmente alta. Compruebe los siguientes elementos. • Compruebe visualmente si hay algo que bloquee los orificios de ventilación. • Compruebe visualmente si el filtro de aire no está obstruido. (página 16)
	Parpadea seis veces	Desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared. Después de comprobar que el indicador I/⏻ se apaga, vuelva a conectar el cable de alimentación a una toma de pared y, a continuación, encienda el proyector.
	Otro número de parpadeos	Consulte con personal especializado de Sony.

Indicador LAMP/COVER

Estado		Significado/Soluciones
Parpadea en rojo		Los síntomas se indican mediante un número de parpadeos. Resuelva el problema de acuerdo con las indicaciones siguientes.
	Parpadea dos veces	La cubierta de la lámpara o la cubierta del filtro de aire no están firmemente sujetas. (página 16)
	Parpadea tres veces	La temperatura de la lámpara es inusualmente elevada. Apague la alimentación y espere a que la lámpara se enfríe y, a continuación, vuelva a encender la alimentación. Si vuelve a mostrar este síntoma, es posible que la lámpara se haya quemado. En tal caso, sustituya la lámpara por una nueva (página 14).

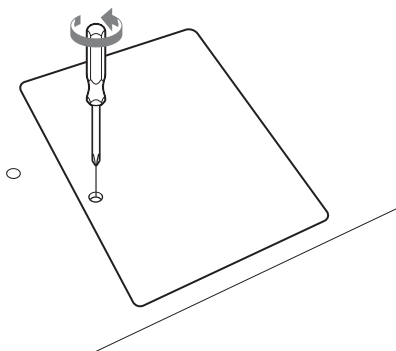
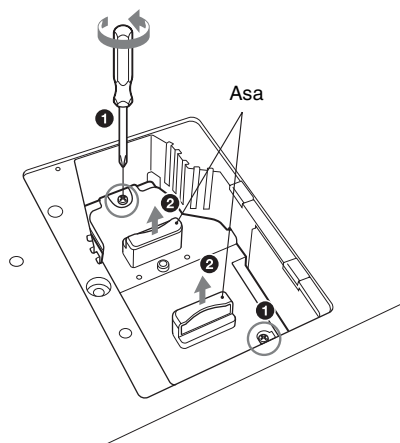
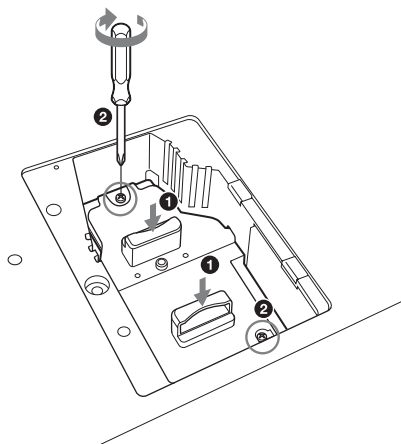
Sustitución de la lámpara

Sustituya la lámpara por una nueva si se muestra un mensaje en la imagen proyectada o si el indicador LAMP/COVER le notifica que sustituya la lámpara (página 13).
Utilice una lámpara de proyector LMP-E211 (no suministrada) para la sustitución.

Precaución

- La lámpara permanece caliente después de haber apagado el proyector. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora después de haber apagado el proyector para que se enfríe lo suficiente.**
- No permita que se introduzcan objetos metálicos o inflamables en la ranura de sustitución de la lámpara después de extraerla, de lo contrario, podría provocar una descarga eléctrica o un incendio. No meta las manos dentro de la ranura.
- **Si la lámpara se rompe, póngase en contacto con personal especializado de Sony. No sustituya la lámpara usted mismo.**
- Cuando sustituya la lámpara, asegúrese de sujetarla por el lugar indicado para tirar de ella recto hacia fuera. Si toca una parte de la lámpara que no sea el lugar indicado, podría quemarse o herirse. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras el proyector se encuentra inclinado, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas si la lámpara se rompe.

1 Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.

2 Cuando la lámpara se haya enfriado lo suficiente, afloje el tornillo 1 para abrir la cubierta.

3 Afloje los 2 tornillos de la lámpara y, a continuación, tire del asa de la lámpara hacia afuera.

4 Inserte por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada firmemente en su sitio. Apriete los 2 tornillos.

5 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete el tornillo 1.

Nota

Asegúrese de instalar firmemente la lámpara y su cubierta, tal como estaban. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

6 Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared y encienda el proyector.

7 Reinicie el contador de la lámpara para que notifique el momento de la siguiente sustitución.

Seleccione “Reiniciar cont. lámp.” en el menú AJUSTE y pulse la tecla ENTER. Cuando aparezca un mensaje, seleccione “Sí” para reiniciar el contador de la lámpara.

Limpieza del filtro de aire

Cuando aparezca un mensaje en la imagen proyectada, limpie el filtro de aire.
Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire incluso después de haberlo limpiado, sustitúyalo por uno nuevo.
Para obtener información detallada sobre un nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.

Precaución

Si no limpia el filtro de aire, es posible que se acumule el polvo y lo obstruya. Como consecuencia, la temperatura puede aumentar en el interior de la unidad, lo que podría provocar un fallo de funcionamiento o un incendio.

1 Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de ca.

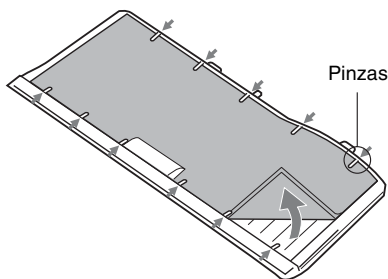
2 Tire hacia afuera de la cubierta del filtro de aire.

3 Limpie el filtro del aire con una aspiradora.

Retire el filtro de aire tal como se indica a continuación y límpielo con una aspiradora.

4 Conecte la cubierta del filtro de aire a la unidad.

Nota

Conecte la cubierta del filtro de aire con firmeza. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG
DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

VORSICHT

Hinweis zum LAN-Anschluss

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Vorsichtsmaßnahmen

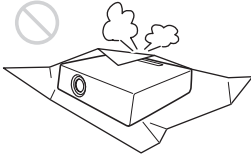
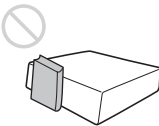
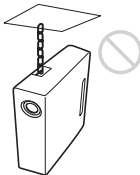
Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an die Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern – die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Gerätes darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Einstellfüßen einklemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem Einstellfuß.
- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es einen Kurzschluss und Sachschäden verursachen kann.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.
- Transportieren Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubniederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Montieren Sie den Projektor niemals an der Decke und versetzen Sie ihn nicht eigenständig. Wenden Sie sich unbedingt an qualifiziertes Sony-Fachpersonal (gegen eine Gebühr).
- Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind, staut sich im Geräteinneren die Wärme und es kann zu einem Brand oder Schäden am Gerät kommen. Befolgen Sie die unten aufgeführten Punkte, um eine angemessene Luftzirkulation zu gewährleisten und einen Wärmestau im Geräteinneren zu vermeiden:

- Lassen Sie um das Gerät herum Freiraum (Seite 4).

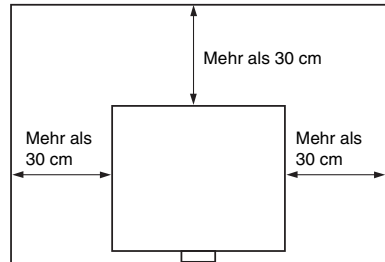
- Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) nicht durch irgendwelche Gegenstände.

DE

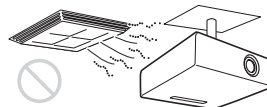
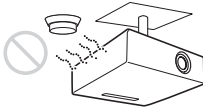
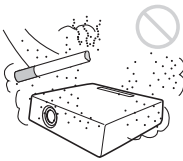
- Platzieren Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie dem Originalverpackungsmaterial, einem weichen Tuch, Papier, Teppichen oder Papierresten. Diese Materialien können durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

- Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Mit der Funktionstaste der Bildabschaltung können Sie das Bild abschalten.

- Nutzen Sie den Sicherheitsriegel nicht, um den Diebstahl des Geräts beim Transport oder der Montage des Geräts zu vermeiden. Wenn Sie das Gerät am Sicherheitsriegel aufheben oder es an diesem Riegel aufhängen, kann es herunterfallen und beschädigt werden und es kann zu Personenschäden kommen.

Für Händler

- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Info zur Installation

- Halten Sie bei der Installation die Abstände zwischen Wänden usw. und dem Gerät gemäß der Abbildung ein.

- Vermeiden Sie eine Verwendung des Geräts mit einer Neigung von mehr als 15 Grad horizontal.

- Vermeiden Sie die Verwendung des Geräts an einem Ort, an dem die Temperatur oder Luftfeuchtigkeit sehr hoch sind oder die Temperatur sehr niedrig ist.

- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts an einem Ort, an dem es kühler oder warmer Luft von einer Klimaanlage ausgesetzt ist. Die Aufstellung an solch einem Ort kann aufgrund der Kondensation von Feuchtigkeit oder einem Temperaturanstieg zu Fehlfunktionen des Geräts führen.

- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts in der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors. Die Aufstellung an solch einem Ort kann zu Fehlfunktionen des Sensors führen.

- Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann.

- Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü ANFANGSWERTE auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z. B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Info zum Reinigen von Objektiv und Gehäuse

- Achten Sie darauf, das Netzkabel von der Netzsteckdose zu lösen, bevor Sie das Gerät reinigen.
- Wenn Sie das Gehäuse mit einem schmutzigen Tuch abwischen, kann das Gehäuse verkratzt werden.
- Wenn das Gerät flüchtigen Stoffen, wie z. B. Insektiziden, ausgesetzt ist, oder wenn das Gerät über längere Zeit in Kontakt mit einem Gummi- oder Vinylharzprodukt kommt, kann das Gerät beschädigt werden oder die Beschichtung kann sich lösen.
- Berühren Sie das Objektiv nicht mit bloßen Händen.
- Hinweise zur Reinigung der Objektivoberfläche:
  Wischen Sie das Objektiv vorsichtig mit einem weichen Tuch ab, wie z. B. mit einem Glasreinigungstuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit Wasser befeuchtet wurde. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.
- Hinweise zur Reinigung des Gehäuses:
  Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem weichen Tuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit einer milden Reinigungslösung befeuchtet und ausgewrungen wurde. Wischen Sie das Gehäuse danach mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.

Info zur Beleuchtung

Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für

jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweise zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Hinweise zum Lüfter

Da der Projektor im Inneren mit einem Lüfter ausgestattet ist, der einen Anstieg der internen Temperatur verhindert, kann es zu einer gewissen Geräuschentwicklung kommen. Dies ist das normale Ergebnis des Herstellungsprozesses und stellt keine Fehlfunktion dar. Sie sollten sich aber an qualifiziertes Sony-Fachpersonal wenden, wenn es zu ungewöhnlichen Geräuschen kommt.

Hinweise zur Lampe

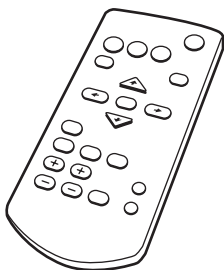
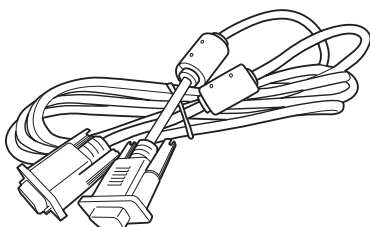
Die als Lichtquelle verwendete Lampe enthält Quecksilber, das einen hohen internen Druck hat. Eine Hochdruck-Quecksilberdampflampe hat die folgenden Merkmale:

- Die Helligkeit der Lampe sinkt, je länger die Lampe benutzt wurde.
- Die Lampe kann aufgrund einer Erschütterung, von Schäden oder einer durch die Nutzungsdauer bedingten Abnutzung mit einem lauten Geräusch platzen. Die Lampe kann erlöschen oder durchbrennen.
- Die Nutzungsdauer der Lampe variiert mit den jeweiligen Unterschieden und Nutzungsbedingungen der jeweiligen Lampe. Daher kann sie möglicherweise schon vor dem angegebenen Austauschzeitpunkt platzen oder nicht aufleuchten.
- Nachdem der Austauschzeitpunkt verstrichen ist, kann die Lampe platzen. Ersetzen Sie die Lampe sobald wie möglich durch eine neue, wenn auf dem Projektionsbild eine Meldung angezeigt wird, auch wenn die Lampe noch normal brennt.

Hinweise zum Tragen

Bei diesem Gerät handelt es sich um Präzisionstechnik. Wenn Sie das Gerät tragen, setzen Sie es keinen Erschütterungen aus und lassen Sie es nicht fallen. Andernfalls kann das Gerät beschädigt werden.

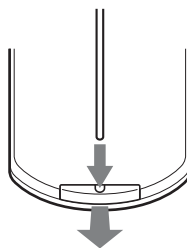
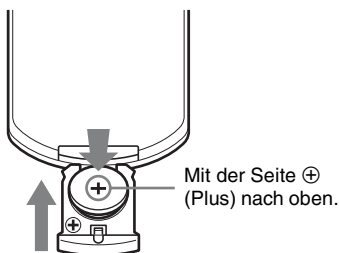
Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

Fernbedienung RM-PJ7 (1)
Lithiumbatterie (CR2025) (1)
Die Batterie ist bereits eingelegt. Entfernen Sie die Isolierfolie, bevor Sie die Fernbedienung verwenden.

Netzkabel (1)
HD D-Sub 15-poliges Kabel (1,8 m) (1)
(1-967-100-11/Sony)

Kurzreferenz (vorliegende Anleitung) (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)

Benutzung der CD-ROM-Anleitungen

Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Einige Augenblicke später startet die CD-ROM automatisch. Wählen Sie die Bedienungsanleitung aus, die Sie lesen möchten. Wenn die CD-ROM nicht automatisch startet, öffnen Sie die Datei „index.htm“ auf der CD-ROM.
Auf Ihrem Computer muss Adobe Acrobat Reader 5.0 oder höher installiert sein, damit Sie die auf der CD-ROM gespeicherten Bedienungsanleitungen lesen können.

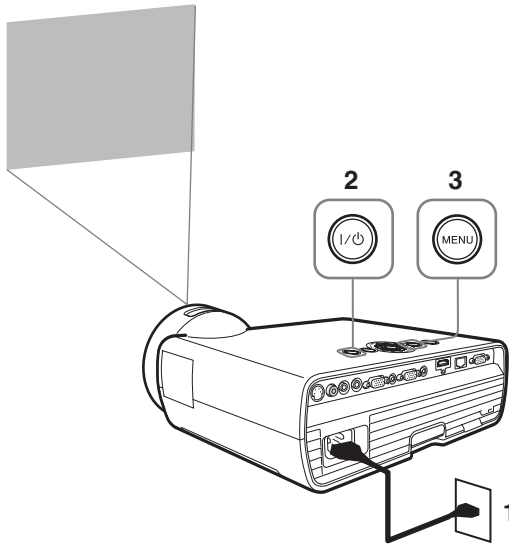
Einsetzen der Batterien

1 Ziehen Sie das Fach für die Lithium-Batterie heraus.
Ziehen Sie das Batteriefach mit einem Stift heraus, wie in der Abbildung dargestellt.

2 Legen Sie eine Lithium-Batterie ein.

3 Schließen Sie das Fach für die Lithium-Batterie.

VORSICHT

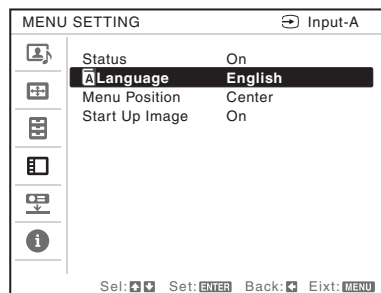
Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

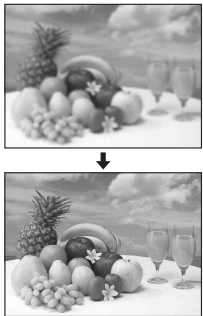
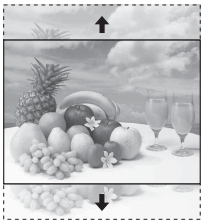
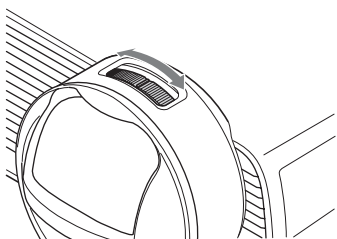
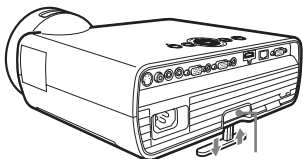
Wählen der Menüsprache

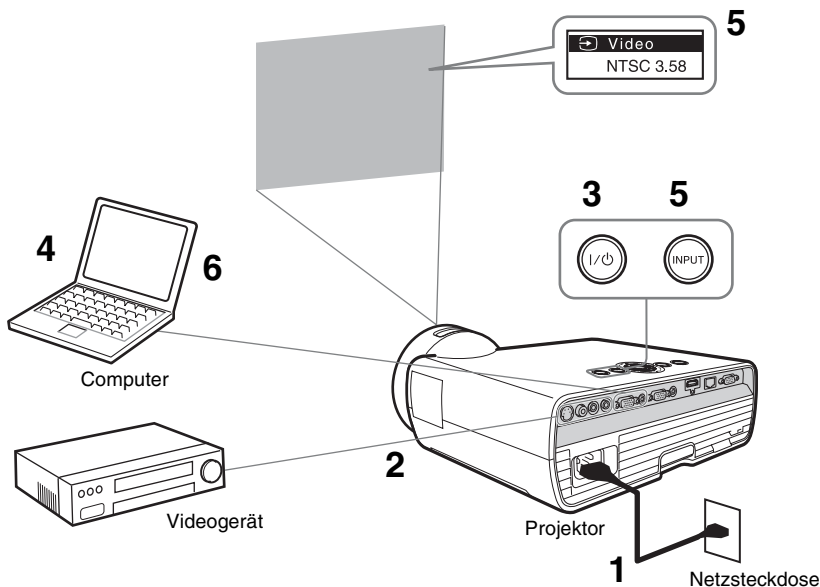
Die werkseitige Einstellung für die Sprache zur Anzeige der Menüs, Meldungen usw. ist Englisch.
Um die Sprache für die Bildschirmanzeige zu ändern, gehen Sie wie folgt vor:

1 Stecken Sie den Stecker des Netzkabels in die Netzsteckdose.

2 Schalten Sie den Projektor ein.
Drücken Sie die Taste I/⏻.

3 Rufen Sie mit der Taste MENU das Menü auf.
Wenn die Anzeige nicht richtig zu sehen ist, passen Sie die Bildschärfe, die Größe und Position des projizierten Bildes an (Seite 10).

4 Wählen Sie die Menüsprache.
① Drücken Sie die Taste ↑ oder ↓ zur Auswahl des Menüs MENÜ-EINSTELLUNG ( ), und drücken Sie dann die Taste ENTER.
② Drücken Sie die Taste ↑ oder ↓ zur Auswahl von „Sprache ( )“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

③ Drücken Sie die Taste ↑/↓/←/→ zur Auswahl einer Sprache, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

5 Drücken Sie die Taste MENU, um den Menübildschirm auszublenden.

Projizieren von Bildern

Wie groß ein Bild projiziert wird, hängt vom Abstand zwischen Projektor und Leinwand ab. Stellen Sie den Projektor so auf, dass das projizierte Bild auf die Leinwand passt. Einzelheiten zu Projektionsabstand und Projektionsbildgrößen finden Sie unter „Projektionsentfernung“.

1 Stecken Sie den Stecker des Netzkabels in die Netzsteckdose.

2 Schließen Sie alle Geräte an den Projektor an.

3 Drücken Sie I/⏻, um das Gerät einzuschalten.

4 Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein.

5 Wählen Sie das Eingangssignal aus.

Jedes Mal, wenn Sie die Taste INPUT am Projektor drücken, wechselt das Eingangssignal. Drücken Sie die Taste INPUT wiederholt, um das zu projizierende Bild auszuwählen.

6 Ändern Sie die Einstellungen am Computer so, dass die Signalausgabe auf externe Anzeige geschaltet wird.

Wie Sie den Computer auf Signalausgabe an den Projektor schalten, hängt vom jeweiligen Computertyp ab.

(Beispiel)

Fn + F7

7 Stellen Sie Fokus und Position des projizierten Bildes ein (Seite 10).

Einstellen des projizierten Bildes

Fokus	Position
	Einstelltaste des Einstellfußes

Einstellen der Neigung des Projektors mit den Einstellfüßen

Sie können die Höhe des Projektors über die Einstellfüße anpassen.
Indem Sie über die Einstellfüße die Neigung des Projektors ändern, können Sie die Position des projizierten Bildes anpassen.

Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie sich beim Absenken des Projektors nicht die Finger einklemmen.
- Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Projektors bei ausgefahrenem Einstellfuß. Dies könnte eine Funktionsstörung verursachen.

Wechseln des Bildseitenverhältnisses des projizierten Bildes

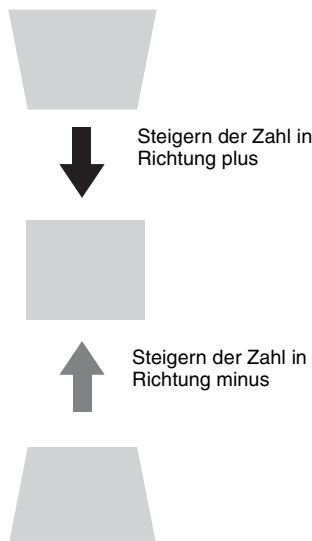
Drücken Sie ASPECT auf der Fernbedienung, um das Bildseitenverhältnis des projizierten Bildes zu ändern. Sie können auch die Einstellung von „Seitenverhältnis“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG ändern.

Korrigieren der Trapezverzeichnung des projizierten Bildes (Trapezausgleichfunktion)

Die Trapezausgleichfunktion funktioniert möglicherweise nicht automatisch, wenn die Leinwand geneigt ist. Stellen Sie in diesem Fall die Trapezausgleichfunktion manuell ein.

1 Drücken Sie auf der Fernbedienung KEYSTONE oder wählen Sie „V Trapez“ im Menü ANFANGSWERTE.
2 Stellen Sie den Wert mit ↑/↓/←/→ ein. Je höher der Einstellwert, desto schmaler die obere Kante des projizierten Bildes. Je niedriger der Einstellwert, desto schmaler die untere Kante.

Hinweis

Da es sich bei der Trapezausgleichsfunktion um eine elektronische Korrektur handelt, verschlechtert sich möglicherweise die Bildqualität.

Automatisches Einstellen von Phase, Teilung und Lage des projizierten Bildes bei Signaleinspeisung von einem Computer (APA (Auto Pixel Alignment))

Drücken Sie APA auf der Fernbedienung. Drücken Sie die Taste erneut, um die Einstellung abzubrechen.
Wenn „Intelligente APA“ auf „Ein“ gesetzt ist, wird die APA automatisch ausgeführt, wenn ein Signal eingespeist wird.

Ausschalten des Projektors

1 Drücken Sie die Taste **I**/⏻ am Hauptgerät bzw. auf der Fernbedienung.
Eine Meldung wird angezeigt. Drücken Sie die Taste je nach Meldung erneut.

2 Ziehen Sie den Stecker des Netzkabels aus der Netzsteckdose.
Nach Schritt **1** läuft der Lüfter noch eine Weile, um die Wärme im Inneren zu verringern. Sie können aber auch den Netzstecker trennen, bevor der Lüfter stoppt.

So blenden Sie die Bestätigungsmeldung aus

Wenn Sie eine andere Taste als die Taste **I**/⏻ am Hauptgerät oder auf der Fernbedienung oder eine Zeitlang gar keine Taste drücken, wird die Meldung ausgeblendet.

So schalten Sie das Gerät ohne Anzeigen einer Bestätigungsmeldung aus

Halten Sie die Taste **I**/⏻ am Hauptgerät einige Sekunden lang gedrückt.

Anzeigen

Die Anzeigen geben Aufschluss über den Status des Projektors und weisen auf Funktionsstörungen hin.
Wenn am Projektor Funktionsstörungen auftreten, lesen Sie zur Behebung des Problems in der folgenden Tabelle nach.

Taste I/⏻

Status		Bedeutung/Abhilfemaßnahmen
Leuchtet rot		Der Projektor befindet sich im Bereitschaftsmodus.
Blinkt grün		• Wenn der Projektor eingeschaltet ist, ist der Projektor betriebsbereit. • Wenn der Projektor ausgeschaltet ist, kühlt die Lampe ab.
Leuchtet grün		Der Projektor ist eingeschaltet.
Leuchtet orange		Der Projektor befindet sich im P Save-Modus (Lampe ausgeschaltet).
Blinkt rot		Am Projektor liegt eine Funktionsstörung vor. Die Ursache wird durch die Häufigkeit des Blinkens angegeben. Lesen Sie zur Behebung des Problems die folgenden Hinweise. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.
	Blinkt zweimal	Die Temperatur im Inneren ist ungewöhnlich hoch. Überprüfen Sie Folgendes. • Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen nicht blockiert sind. • Stellen Sie sicher, dass der Luftfilter nicht verschmutzt ist. (Seite 16)
	Blinkt sechsmal	Ziehen Sie den Stecker des Netzkabels aus der Netzsteckdose. Vergewissern Sie sich, dass die Taste I/⏻ nicht mehr leuchtet, stecken Sie dann das Netzkabel wieder in eine Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.
	Blinkt eine andere Anzahl von Malen	Wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.

Anzeige LAMP/COVER

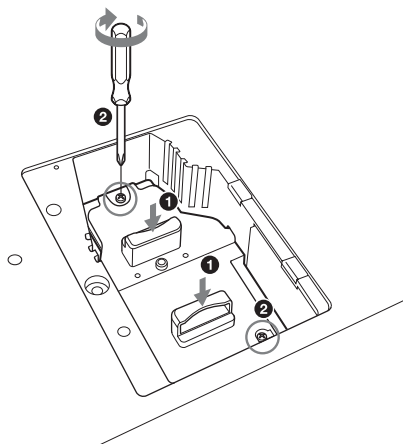
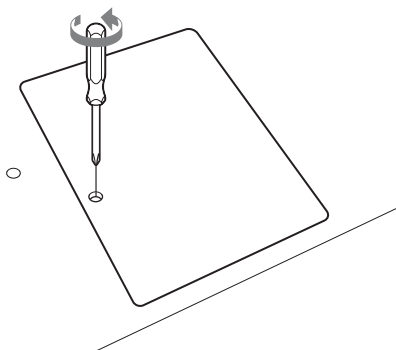
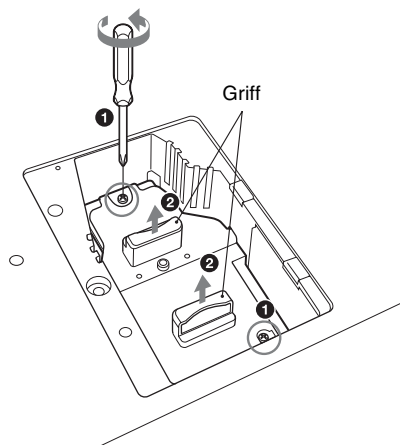
Status		Bedeutung/Abhilfemaßnahmen
Blinkt rot		Die Ursache wird durch die Häufigkeit des Blinkens angegeben. Lesen Sie zur Behebung des Problems die folgenden Hinweise.
	Blinkt zweimal	Die Lampenabdeckung oder die Luftfilterabdeckung ist nicht richtig angebracht. (Seite 16)
	Blinkt dreimal	Die Temperatur der Lampe ist ungewöhnlich hoch. Schalten Sie den Projektor aus, warten Sie, bis die Lampe abgekühlt ist, und schalten Sie den Projektor dann wieder ein. Bleibt das Problem bestehen, ist die Lampe durchgebrannt. Tauschen Sie die Lampe in diesem Fall gegen eine neue aus (Seite 14).

Austauschen der Lampe

Tauschen Sie die Lampe gegen eine neue aus, wenn eine entsprechende Meldung auf dem projizierten Bild angezeigt wird oder wenn die Anzeige LAMP/COVER auf das Austauschen der Lampe hinweist (Seite 13).
Verwenden Sie die Projektorlampe LMP-E211 (nicht mitgeliefert) als Ersatz.

Vorsicht

- Die Lampe bleibt nach dem Ausschalten des Projektors noch heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe nach dem Ausschalten des Projektors mindestens eine Stunde lang ausreichend abkühlen, bevor Sie sie austauschen.**
- Achten Sie darauf, dass nach dem Herausnehmen der Lampe kein metallener oder entzündlicher Gegenstand in den Lampensteckplatz gerät. Andernfalls besteht die Gefahr eines elektrischen Schlags oder Feuergefahr. Greifen Sie nicht mit den Händen in den Steckplatz.
- **Wenn die Lampe zerbricht, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Tauschen Sie die Lampe nicht selbst aus.**
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass Sie sie gerade herausziehen und dabei an der gekennzeichneten Position halten. Wenn Sie einen anderen Bereich der Lampe außer dem gekennzeichneten Bereich berühren, können Sie sich verbrennen oder verletzen. Wenn Sie die Lampe schräg aus dem Projektor herausziehen und diese dabei bricht, können sich die Bruchstücke verstreuen und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

2 Wenn die Lampe ausreichend abgekühlt ist, öffnen Sie die Lampenabdeckung, indem Sie die 1 Schraube lösen.

3 Lösen Sie die 2 Schrauben an der Lampe und ziehen Sie die Lampe dann am Griff heraus.

4 Setzen Sie die neue Lampe bis zum Anschlag ein, so dass sie richtig sitzt. Ziehen Sie die 2 Schrauben fest.

5 Schließen Sie die Lampenabdeckung und ziehen Sie die 1 Schraube fest.

Hinweis

Bringen Sie die Lampe und die Lampenabdeckung vorschriftsmäßig wieder an. Andernfalls lässt sich der Projektor nicht einschalten.

6 Schließen Sie das Netzkabel an eine Netzsteckdose an und schalten Sie den Projektor ein.

7 Setzen Sie den Lampentimer zurück, damit zum nächsten Lampentausch eine Benachrichtigung angezeigt wird.

Wählen Sie „Lampentimer Rück“ im Menü EINSTELLUNG und drücken Sie dann die Taste ENTER. Wenn eine Meldung erscheint, wählen Sie „Ja“, um den Lampentimer zurückzusetzen.

Reinigen des Luftfilters

Wenn auf dem projizierten Bild eine Meldung erscheint, reinigen Sie den Luftfilter.
Falls der Luftfilter auch nach dem Reinigen nicht frei von Staub ist, tauschen Sie den Luftfilter gegen einen neuen aus.
Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, konsultieren Sie bitte qualifiziertes Sony-Personal.

Vorsicht

Wenn Sie den Luftfilter nicht regelmäßig reinigen, kann sich Staub ansammeln und den Filter verstopfen. Als Folge davon erhöht sich möglicherweise die Temperatur im Inneren des Geräts und es besteht die Gefahr einer Fehlfunktion oder Feuergefahr.

1 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

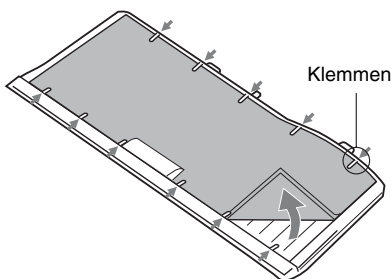
2 Ziehen Sie die Luftfilterabdeckung heraus.

3 Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.

Entfernen Sie den Luftfilter wie unten dargestellt, und reinigen Sie ihn dann mit dem Staubsauger.

4 Bringen Sie die Luftfilterabdeckung am Gerät an.

Hinweis

Achten Sie darauf, die Luftfilterabdeckung fest anzubringen. Andernfalls lässt sich der Projektor nicht einschalten.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA
QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE

Informazioni sul connettore LAN

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

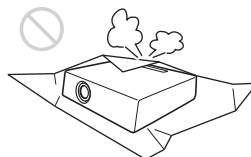
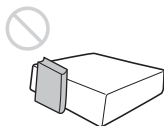
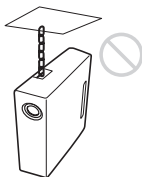
Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non avvicinare mani o oggetti alle prese di ventilazione: l'aria che ne fuoriesce è molto calda.
- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione. Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il dispositivo di regolazione è allungato.
- Non usare un cavo di prolunga di tensione nominale inferiore che potrebbe causare corti circuiti e infortuni.
- Nello spostare il proiettore installato sul pavimento, non pizzicare le dita fra l'unità e la superficie del pavimento.
- Non trasportare il proiettore con il mobile e il coperchio aperto.
- Non installare l'unità in una posizione prossima a sorgenti di calore quali radiatori o condotti di aria, oppure in un luogo esposto alla luce solare diretta, a polvere o umidità eccessiva, vibrazione meccanica o urti.
- Evitare di montare il proiettore sul soffitto o di spostarlo autonomamente. Rivolgersi a personale Sony qualificato (servizio a pagamento).
- Se i fori di aerazione sono ostruiti, il calore potrebbe accumularsi all'interno e causare incendi o danni all'unità. Per consentire un'adeguata circolazione dell'aria e impedire l'accumulo di calore all'interno, attenersi alle indicazioni riportate di seguito:

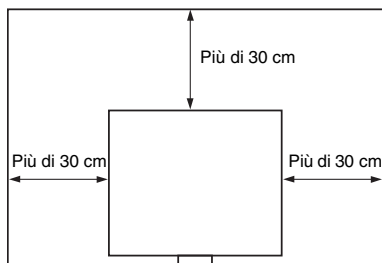
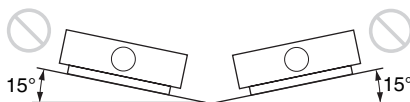
- Lasciare dello spazio attorno all'unità (pagina 4).

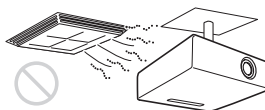
- Evitare di coprire i fori di aerazione (scarico/aspirazione).

- Non collocare l'unità sull'imballaggio originale, su tessuti morbidi, carta, tappeti o frammenti di carta. I fori di aerazione potrebbero aspirare tali materiali.

- Non mettere alcun oggetto davanti all’obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l’oggetto. Utilizzare il tasto della funzione di disattivazione dell’immagine per escludere l’immagine.

- Non utilizzare la barra di sicurezza, pensata per impedire il furto, al fine di trasportare o installare l’unità. Se l’unità viene sollevata o viene appesa per mezzo della barra di sicurezza, l’unità potrebbe cadere e danneggiarsi, provocando eventualmente infortuni.

Per rivenditori

- Fissare saldamente il coperchio dell’unità per una installazione sul soffitto sicura.

Informazioni sull’installazione

- Durante l’installazione dell’unità, lasciare uno spazio tra qualsiasi parete, ecc. e l’unità come illustrato.

- Evitare di utilizzare l’unità se è inclinata di più di 15 gradi in orizzontale.

- Evitare di utilizzare l’unità in un ambiente in cui la temperatura o l’umidità è molto elevata o in cui la temperatura è molto bassa.

- Evitare di installare l’unità in un luogo su cui è diretta l’aria fredda o calda di un climatizzatore. L’installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare problemi di funzionamento dell’unità, dovuti alla condensazione dell’umidità o all’aumento della temperatura.

- Evitare di installare l’unità in prossimità di un sensore di calore o di fumo. L’installazione in tali posizioni può causare problemi di funzionamento del sensore.

- Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità.

- Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

Pulizia della lente e del telaio

- Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA prima della pulizia.
- Non sfregare l'unità con un panno non pulito, onde evitare di graffiarla.
- Se l'unità è esposta a materiali volatili, come gli insetticidi, o se rimane in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, l'unità potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.
- Non toccare la lente a mani nude.
- Pulizia della superficie della lente:
  Pulire delicatamente la lente con un panno morbido, ad esempio un panno per la pulizia degli occhiali. Rimuovere le macchie persistenti con un panno morbido leggermente inumidito con acqua. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.
- Pulizia del telaio:
  Pulire delicatamente il telaio con un panno morbido. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno morbido leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata e strizzato, quindi asciugare con un panno morbido asciutto. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

Illuminazione

Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento.
Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Ventola

Il proiettore è munito di una ventola interna per impedire l'innalzamento della temperatura interna, pertanto potrebbe produrre qualche rumore. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento. Tuttavia, in caso di rumori anomali è

consigliabile rivolgersi a personale Sony qualificato.

Lampada

La lampada utilizzata come sorgente luminosa contiene mercurio ad alta pressione interna. Una lampada a mercurio ad alta pressione presenta le caratteristiche indicate di seguito:

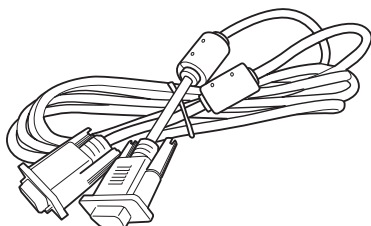
- La luminosità della lampada diminuisce con il trascorrere del tempo.
- La lampada potrebbe rompersi, producendo un forte rumore, a seguito di urti, danni o deterioramenti causati dal trascorrere del tempo. La lampada può spegnersi e bruciarsi.
- La durata della lampada dipende dalle singole differenze e dalle condizioni di utilizzo di ciascuna lampada. Potrebbe pertanto rompersi o non illuminare correttamente anche prima del tempo di sostituzione specificato.
- Potrebbe inoltre rompersi dopo che è trascorso il tempo di sostituzione. Effettuare la sostituzione con una lampada nuova il prima possibile nel caso venga visualizzato un messaggio sull'immagine proiettata, anche se la lampada illumina tuttora normalmente.

Per il trasporto

Si tratta di apparecchiatura di precisione. Quando si trasporta l'unità, non sottoporla a urti o cadute. Potrebbe danneggiarsi.

Verifica degli accessori in dotazione

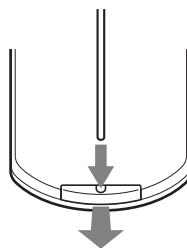
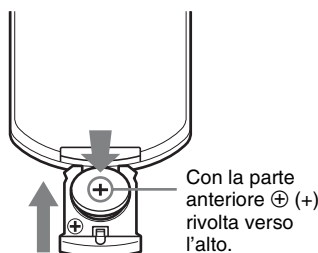
Telecomando RM-PJ17 (1)
Batteria al litio (CR2025) (1)
La batteria è già installata. Prima di utilizzare il telecomando, rimuovere la pellicola di isolamento.

Cavo di alimentazione CA (1)
Cavo HD D-sub a 15 piedini (1,8 m) (1)
(1-967-100-11/Sony)

Guida rapida all'uso (questo manuale) (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)

Uso dei manuali su CD-ROM

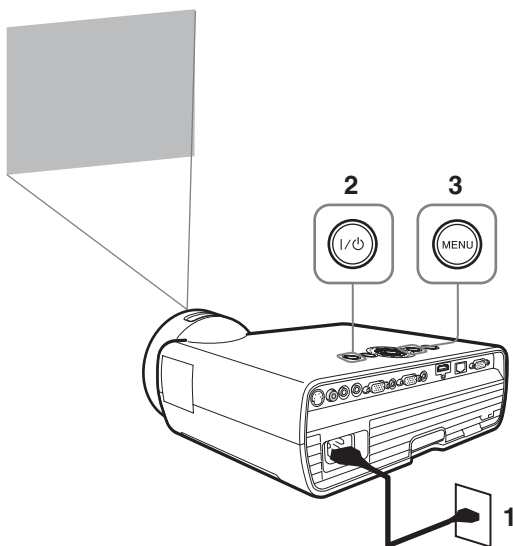
Inserire il CD-ROM in dotazione nell'unità CD-ROM del computer; il CD-ROM viene avviato automaticamente entro pochi secondi. Selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere. Se il CD-ROM non si avvia automaticamente, aprire il file "index.htm" sul CD-ROM.
Per leggere le istruzioni d'uso sul CD-ROM è necessario aver installato Adobe Acrobat Reader 5.0 o versioni successive sul computer.

Inserimento delle pile

1 Estrarre la batteria a litio dal relativo alloggiamento.
Estrarre dall'alloggiamento la batteria con un bastoncino come illustrato.

2 Inserire una batteria al litio.

3 Chiudere l'alloggiamento della batteria al litio.

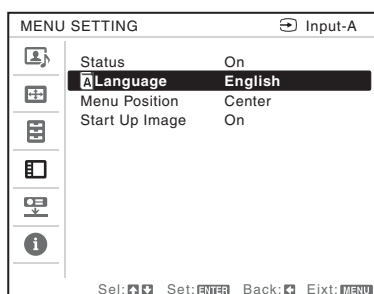
ATTENZIONE
Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

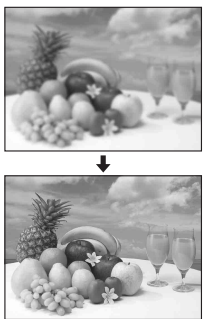
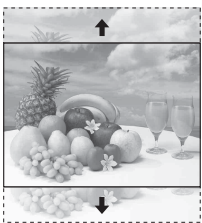
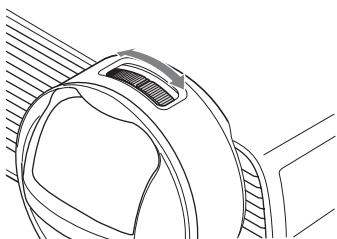
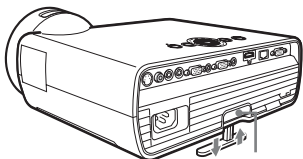
Selezione della lingua del menu

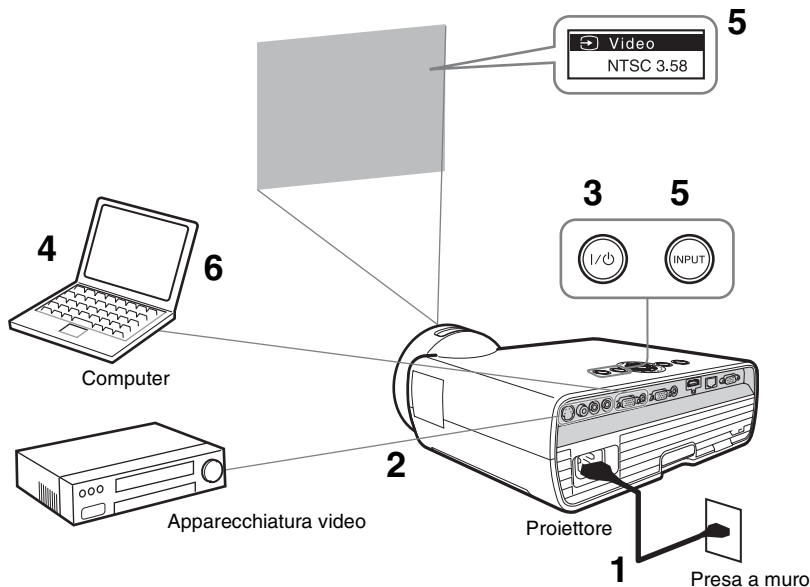
L’impostazione di fabbrica relativa alla lingua di visualizzazione di menu, messaggi e simili è l’inglese.
Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo, procedere come indicato di seguito:

1 Inserire il cavo di alimentazione CA in una presa a muro.

2 Accendere il proiettore.
Premere il tasto I/⏻.

3 Premere il tasto MENU per visualizzare il menu.
Se non è possibile visualizzare correttamente le indicazioni, regolare la messa a fuoco, la dimensione e la posizione dell’immagine proiettata (pagina 10).

4 Selezionare la lingua per i menu.
① Premere il tasto ↑ o ↓ per selezionare il menu IMPOSTAZIONE MENU ( ), quindi premere il tasto ENTER.
② Premere il tasto ↑ o ↓ per selezionare “Lingua ( )”, quindi premere il tasto ENTER.

③ Premere il tasto ↑/↓/←/→ per selezionare una lingua, quindi premere il tasto ENTER.

5 Premere il tasto MENU per chiudere la schermata di menu.

Proiezione dell'immagine

Le dimensioni dell'immagine proiettata dipendono dalla distanza tra il proiettore e lo schermo. Installare il proiettore in modo che l'immagine proiettata rientri nelle dimensioni dello schermo. Per i dettagli sulle distanze di proiezione e sulle dimensioni dell'immagine proiettata, vedere "Distanza di proiezione".

1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa di rete.

2 Collegare tutte le apparecchiature al proiettore.

3 Premere I/⏻ per accendere l'unità.

4 Accendere l'apparecchiatura collegata.

5 Selezionare la sorgente d'ingresso.
A ogni pressione del tasto INPUT sul proiettore, il segnale di ingresso cambia. Premere più volte il tasto INPUT per selezionare un'immagine da proiettare.

6 Commutare l'uscita del computer sul monitor esterno modificando le impostazioni del computer.
Il metodo per commutare la visualizzazione del computer sul proiettore varia in funzione del tipo di computer.

(Esempio)

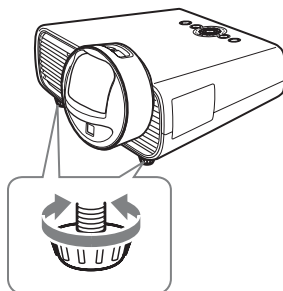
Fn + F7

7 Regolare la messa a fuoco e la posizione dell'immagine proiettata (pagina 10).

Regolazione dell'immagine proiettata

Messa a fuoco	Posizione
	Pulsante del dispositivo di regolazione

Regolazione dell'inclinazione del proiettore con i dispositivi di regolazione

È possibile regolare l'altezza del proiettore utilizzando i dispositivi di regolazione. Modificando l'inclinazione del proiettore con i dispositivi di regolazione, è possibile regolare la posizione dell'immagine proiettata.

Note

- Prestare attenzione a non pizzicare le dita sotto il proiettore.
- Non premere con forza la parte superiore del proiettore quando il dispositivo di regolazione è allungato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Modifica del rapporto di formato dell'immagine proiettata

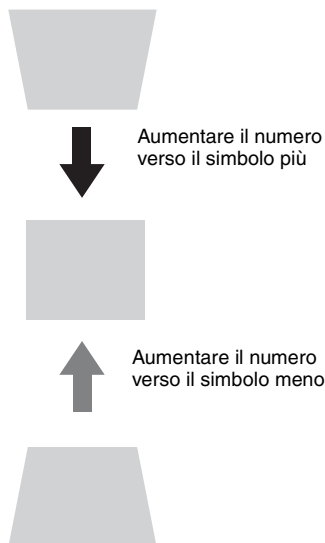
Premere ASPECT sul telecomando per modificare il rapporto di formato dell'immagine proiettata. È possibile modificare anche l'impostazione in Formato del menu REGOLAZIONE INGRESSO.

Correzione della distorsione trapezoidale dell'immagine proiettata (funzione Trapezio)

La funzione Trapezio non può funzionare automaticamente quando lo schermo viene inclinato. In questo caso, impostare manualmente il trapezio.

1 Premere KEYSTONE sul telecomando o selezionare Trapezio V nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE.
2 Utilizzare ↑/↓/←/→ per impostare il valore. Maggiore è l'impostazione, più stretta è la parte superiore dell'immagine proiettata. Minore è l'impostazione, più stretta è la parte inferiore.

Nota

Poiché la regolazione Trapezio è una correzione elettronica, l'immagine potrebbe risultare deteriorata.

Consente di regolare automaticamente la Fase, il Passo e lo Spostamento dell'immagine proiettata durante l'ingresso di un segnale da un computer (APA (Allineamento pixel automatico))

Premere APA sul telecomando. Per annullare durante l'impostazione, premerlo una seconda volta.
Se APA intelligente viene impostato su Inser., si esegue automaticamente APA quando si riceve un segnale in ingresso.

Spegnimento dell’alimentazione

1 Premere il tasto I/⏻ sull’unità principale o sul telecomando.

Viene visualizzato il messaggio. Premere di nuovo il tasto secondo quanto indicato nel messaggio.

2 Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

Dopo il punto **1**, la ventola rimane in funzione per qualche tempo al fine di ridurre il calore interno, tuttavia è anche possibile scollegare il cavo di alimentazione CA prima dell’arresto della ventola.

Per cancellare il messaggio di conferma

Il messaggio scompare se si preme un tasto diverso da I/⏻ sull’unità principale o sul telecomando, oppure se non viene premuto alcun tasto per qualche istante.

Spegnere senza che venga visualizzato il messaggio di conferma

Tenere premuto per alcuni secondi il tasto I/⏻ sull’unità principale.

Spie

Le spie consentono di verificare lo stato del proiettore segnalando eventuali anomalie di funzionamento.
Se il proiettore mostra uno stato anomalo, cercare di risolvere il problema in base alla seguente tabella.

Tasto I/⏻

Stato		Significato/Soluzione
Accesa, rossa		Il proiettore è nel modo di attesa.
Lampeggiante, verde		• Dopo l'accensione, il proiettore sarà pronto per essere utilizzato. • Dopo che il proiettore sarà stato spento, la lampada si raffredda.
Accesa, verde		Il proiettore è acceso.
Accesa, arancione		Il proiettore è in modalità Risparmio energ. (spegnimento della lampada).
Lampeggiante, rossa		Il proiettore è in uno stato anomalo. I sintomi sono indicati dal numero di lampeggi. Cercare di risolvere il problema in base alle seguenti indicazioni. Se il problema persiste, rivolgersi a personale Sony qualificato.
	Due lampeggi	La temperatura interna è insolitamente elevata. Controllare le voci sottostanti. • Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Verificare che il filtro dell'aria non sia ostruito. (pagina 16)
	Sei lampeggi	Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro. Dopo aver verificato che il tasto I/⏻ si spegne, collegare di nuovo il cavo di alimentazione alla presa a muro e accendere il proiettore.
	Altro numero di lampeggi	Consultare il personale Sony autorizzato.

Spia LAMP/COVER

Stato		Significato/Soluzione
Lampeggiante, rossa		I sintomi sono indicati dal numero di lampeggi. Cercare di risolvere il problema in base alle seguenti indicazioni.
	Due lampeggi	Il pannello della lampada o il coperchio del filtro dell'aria non è fissato correttamente. (pagina 16)
	Tre lampeggi	La temperatura della lampada è insolitamente elevata. Spegnere il proiettore e attendere che la lampada si raffreddi, quindi accenderlo nuovamente. Se il problema persiste, è possibile che la lampada sia bruciata. In tal caso, sostituire la lampada con una nuova (pagina 14).

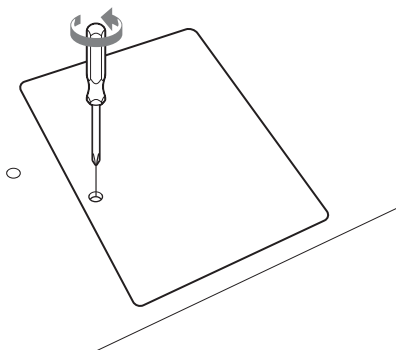
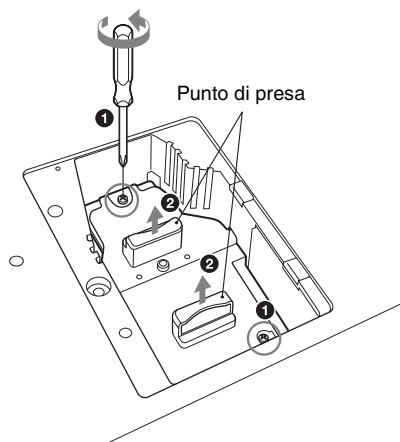
Sostituzione della lampada

Sostituire la lampada con una nuova se viene visualizzato un messaggio sull'immagine proiettata o se la spia LAMP/COVER segnala la necessità di sostituire la lampada (pagina 13). Per la sostituzione, utilizzare una lampada per proiettore LMP-E211 (non in dotazione).

Attenzione

- La lampada resta calda dopo aver spento il proiettore. **Toccando la lampada, ci si potrebbe ustionare le dita. Quando si sostituisce la lampada, aspettare almeno un'ora dopo lo spegnimento del proiettore affinché si raffreddi a sufficienza.**
- Non consentire la penetrazione di oggetti metallici o infiammabili nell'alloggiamento della lampada dopo la rimozione di quest'ultima, per evitare scosse elettriche o incendi. Non inserire le mani nell'alloggiamento.
- **Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale Sony qualificato. Non sostituire personalmente la lampada.**
- Durante la rimozione della lampada, afferrarne il punto di presa e tirarla nella posizione prevista. Se si tocca una parte della lampada diversa dalla posizione prevista, si potrebbero riportare infortuni o ustioni. Se la lampada viene tirata mentre il proiettore è inclinato, in caso di rottura i frammenti potrebbero disperdersi, causando infortuni.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa di rete.

2 Quando la lampada si è raffreddata sufficientemente, aprire il pannello della lampada allentando 1 vite.

3 Allentare le 2 viti sulla lampada, quindi estrarre la lampada afferrando il punto di presa.

4 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione. Serrare le 2 viti.

5 Chiudere il pannello della lampada e serrare 1 vite.

Nota

Montare saldamente la lampada e il relativo pannello come erano in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

6 Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro e accendere il proiettore.

7 Azzerare il timer della lampada per la notifica della successiva sostituzione.

Selezionare “Reimp. timer lamp.” nel menu REGOLAZIONE, quindi premere il tasto ENTER. Quando viene visualizzato un messaggio, selezionare “Sì” per azzerare il timer della lampada.

Pulizia del filtro dell'aria

Quando viene visualizzato un messaggio sull'immagine proiettata, pulire il filtro dell'aria.
Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria anche dopo la pulizia, sostituirlo con un filtro nuovo.
Per i dettagli sul nuovo filtro dell'aria, rivolgersi al personale Sony qualificato.

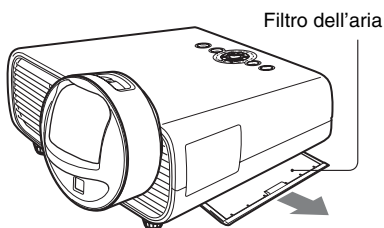
Attenzione

Se si trascura la pulizia del filtro dell'aria, la polvere può accumularsi e provocare ostruzioni. Di conseguenza, la temperatura interna dell'unità potrebbe aumentare, comportando problemi di funzionamento o incendi.

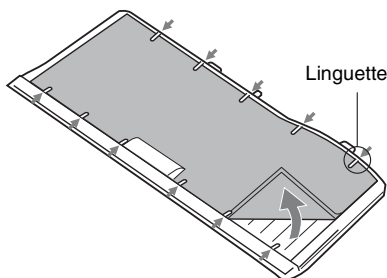
1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.

2 Togliere il coperchio del filtro dell'aria.

3 Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.

Rimuovere il filtro dell'aria come mostrato nella figura, quindi pulire con un aspirapolvere.

4 Fissare il coperchio del filtro dell'aria sull'apparecchiatura.

Nota

Fissare saldamente il coperchio del filtro dell'aria. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

机型名称：数据投影机
使用产品前请仔细阅读本使用说明书，
并请妥善保管。

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告

此设备必须接地。

警告
在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。
在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

注意
LAN 接口注意事项
为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。

警告
1 请使用经过认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
2 请使用符合特定额定值 （电压、电流）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

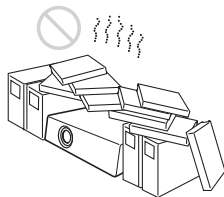
如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

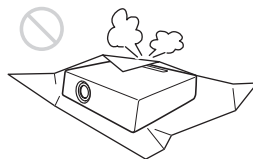
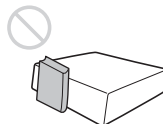
重要
设备铭牌位于底部。

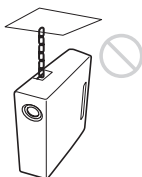
使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司专业技术人员咨询检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近，注意排出的空气较热。
- 当您调节本机的高度时，小心不要让调节器夹到您的手指。不要在调节器伸出的状态下用力按压投影机的顶部。
- 避免使用带低压限制的延长线，否则可能造成短路和人身事故。
- 在移动安装于地板上的投影机时，不要将手指卡入装置和地面之间。
- 投影机箱打开和箱盖打开时，不得搬运投影机。
- 不得将本机安装在靠近电暖炉或排气管等热源的位置，也不得放置于易受阳光直射、灰尘过多、潮湿、机械振动或冲击的位置。
- 请勿将投影机安装于天花板或自行拆移。必须请 Sony 专业人员进行这些操作 （收费）。

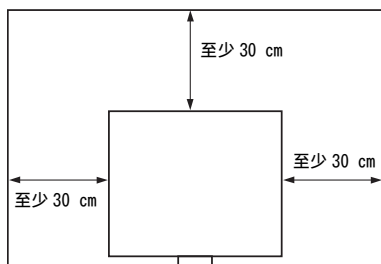
- 如果通风孔堵塞而造成内部热量蓄积，可能导致火灾或损坏本机。若要保持通风良好并防止内部热量蓄积，请遵守以下事项：
- 请在本设备周围留出空间 （第 4 页）。

- 请避免使用物品遮盖通风孔（排气 / 进气）。

- 请勿将本机放置于出厂包装纸、软布、纸、垫子或纸片等物品表面上。通风孔可能会吸入这些物品。

- 在投影期间请勿在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。来自光线的热量可能会造成物品损坏。请使用画面消除功能停止投影。

CS

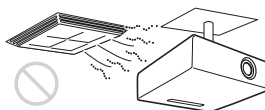
- 请勿将安全棒用于防止偷窃或安装本机。如果使用安全棒提起本机或悬挂本机，可能会造成本机掉落和损坏，并可能导致人员受伤。

致经销商

- 当安装至天花板时，务必牢牢固定箱盖。

安装须知

- 安装本机时，请在墙壁等与本机之间留出如图所示空间。

- 请避免在本机水平倾斜 15 度以上时使用本机。

- 请避免在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所使用本机。

- 请避免将本机安装在受空调的冷暖风直接吹拂的地方。在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

- 避免将本机安装于温度或烟雾传感器附近。在这样的场所安装可能会导致传感器的误动作。

- 勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。

- 当在海拔 1500 米或更高的地区使用本机时，请将安装设定菜单中的 “高海拔高度模式” 设置为 “开”。当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

关于清洁镜头和机壳

- 清洁前务必断开交流电源线与交流电源插座的连接。
- 如果使用脏布擦拭本机，可能会刮伤机壳表面。
- 如果本机暴露于杀虫剂等挥发性物质中或本机长时间与橡胶或乙烯基树脂产品接触，本机的表面涂层会被破坏或脱落。
- 请勿用手触摸镜头。
- 清洁镜头表面：
  请用眼镜清洁布等软布轻轻擦拭镜头。使用稍微浸过水的软布可以擦除顽固的污渍。切勿使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗擦剂以及化学清洁布。
- 清洁机壳：
  使用软布轻轻擦拭机壳。使用稍微浸过中性清洁剂并拧干的软布可以擦掉顽固的污渍，然后使用柔软的干布进行擦拭。切勿使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗擦剂以及化学清洁布。

关于照明

为了获得最佳图像，不应该让屏幕的正面暴露在直射照明或阳光下。

关于 LCD 投影机

本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续出现微小的黑点和 / 或亮点 （红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。
并且，当您使用多台 LCD 投影机投影在一个屏幕上时，即使是相同型号，投影机间的色彩再现可能会有不同，因为各个投影机的色彩平衡可能设置各异。

屏幕

当在不平整的表面使用屏幕时，根据屏幕与本机之间的距离或变焦放大倍数的不同，极少数情况下可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非本机的故障。

冷却扇

投影机内部装有的冷却扇可以防止内部温度升高，但稍微有些噪声。这是制造过程的正常结果，并不表明出现故障。
如果出现异常噪声，请向 Sony 专业人员咨询。

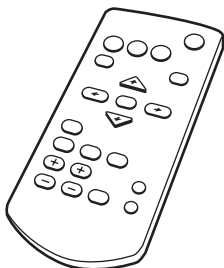
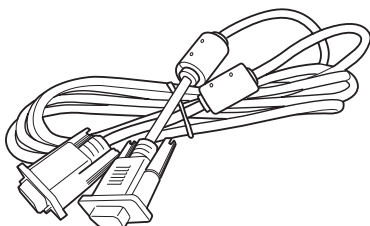
投影灯

用作光源的投影灯内含具有很高内压的汞。高压汞灯具有下列特性：
- 随着投影灯使用时间的增加，其亮度将会降低。
- 敲打投影灯可能会导致投影灯破损并伴有响声，随着投影灯使用时间的增加，投影灯会损坏或老化。投影灯可能会无法点亮并可能烧坏。
- 投影灯的寿命根据各投影灯的个体差异或使用条件而有所不同。因此，投影灯在到达指定的可使用时间之前就可能会破损或无法点亮。
- 投影灯也可能在超过了可使用时间才破损。如果投影图像上显示更换信息，即使投影灯仍可以正常点亮，也请尽快更换投影灯。

搬运

本机为精密设备。搬运本机时，请勿使本机受到撞击或掉落。否则可能会损坏本机。

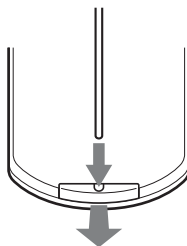
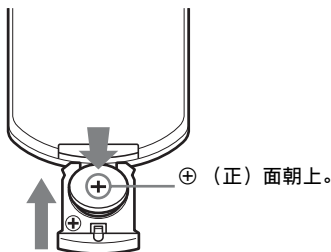
检查随机附件

RM-PJ7 遥控器 （1）
锂电池 （CR2025）（1）
已安装电池。使用遥控器前，请撕下绝缘膜。

交流电源线 （1）
HD D-sub 15 芯电缆 （1.8 米）（1）
（1-967-100-11/Sony）

快速参考手册 （本手册）（1）
使用说明书 （CD-ROM）（1）

使用 CD-ROM 手册

将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，片刻后 CD-ROM 会自动启动。选择想要阅读的使用说明书。如果 CD-ROM 没有自动启动，请打开 CD-ROM 中的 "index.htm" 文件。
电脑中必须安装有 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本才能阅读 CD-ROM 中存储的使用说明书。

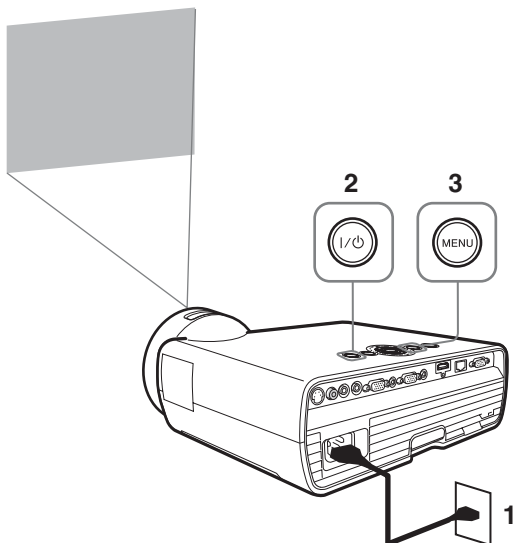
安装电池

1 拉出锂电池舱。
如图所示，用棍状物拉出电池舱。

2 插入锂电池。

3 合上锂电池舱。

注意
如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

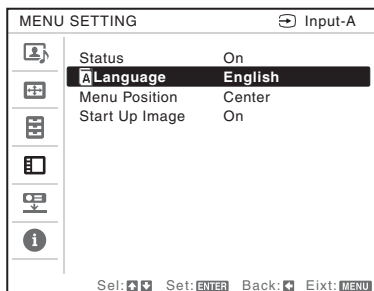
【电池使用安全须知】
- 不得将电池充电。
- 不得将电池投入火中，加热、分解或改造。
- 应使用指定种类的电池。
- 应使用推荐期限内的电池。
- 应按极性正确安装电池。
- 应及时取出耗尽电池。
- 不得将电池新旧混用。
- 不得将电池弃于水、海水，或弄湿。
- 不得将电池放在小孩容易触及的地方。
- 严禁直接焊接电池。
- 应正确安装电池以防止电池短路。

选择菜单语言

菜单、信息等显示语言的出厂设定为英文。
若要更改画面显示语言，请按以下步骤操作：

1 将交流电源线的插头插入电源插座。

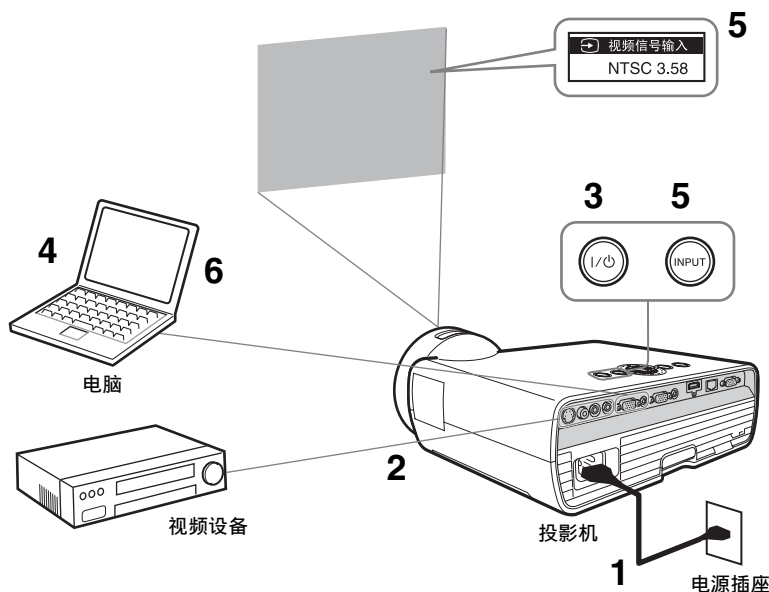
2 打开投影机。
按 I/⏻ 键。

3 按 MENU 键显示菜单。
如果画面显示模糊，请调节投影图像的聚焦、尺寸和位置 （第 9 页）。

4 选择菜单语言。
① 按↑或↓键选择菜单设定( )菜单，然后按 ENTER 键。
② 按 ↑ 或 ↓ 键选择 “语言（A）”，然后按 ENTER 键。

③ 按 ↑/↓/←/→ 键选择一种语言，然后按 ENTER 键。

5 按 MENU 键关闭菜单画面。

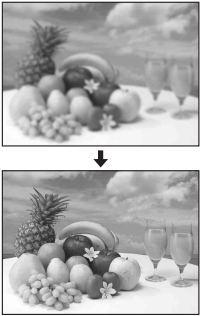
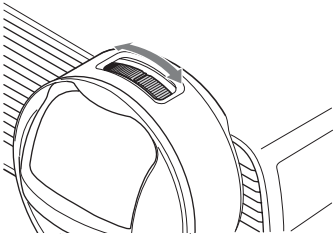
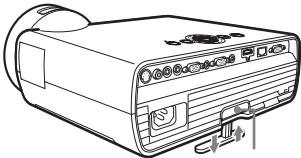
投影图像

投影的图像大小视投影机与银幕之间的距离而定。安装投影机使投影的图像符合银幕大小。有关投影距离与投影图像大小的详细说明，请参见 “投影距离”。

1 将交流电源线的插头插入电源插座。

2 将所有设备连接至投影机。

3 按 I/⏻ 以打开本机。

4 打开连接的设备。

5 选择输入源。
每次按投影机上的 INPUT 键时，输入信号将切换。反复按 INPUT 键选择要投影的图像。

6 通过改变电脑的设定将电脑切换为输出到外接显示器。
视电脑类型而定，将电脑切换到输出至投影机的方法各不相同。

（例如）

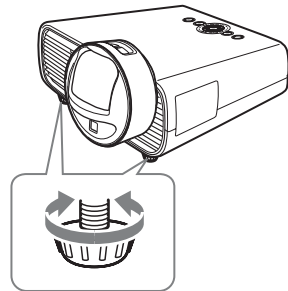
Fn + F7

7 调节投影图像的聚焦和画面位置（第 9 页）。

调节投影图像

聚焦	位置
	调节器调节按钮

用调节器调节投影机的倾斜度

可使用调节器调节投影机的高度。
通过使用调节器改变投影机的倾斜度，
可调节投影图像的位置。

注意

- 小心不要让投影机压到您的手指。
- 请不要在调节器延伸的状态下用力按压投影机的顶部。这可能会引起故障。

改变投影图像的纵横比

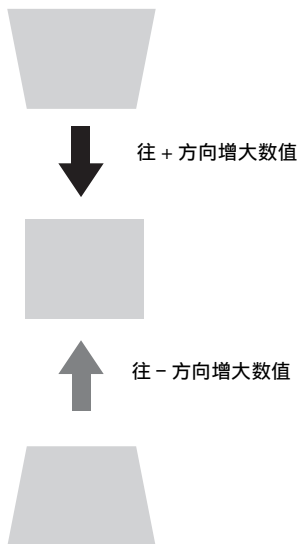
按遥控器上的 ASPECT 改变投影图像的纵横比。也可以在输入设定菜单的纵横比中改变设定。

校正投影图像的梯形失真 （梯形失真校正功能）

当屏幕倾斜时，梯形失真校正功能可能无法自动工作。此时，请手动设定梯形失真校正。

1 按遥控器上的KEYSTONE或选择安装设定菜单中的垂直梯形失真校正。
2 使用 ↑/↓/←/→ 设定数值。设定值越高，投影图像的上部越窄。设定值越低，底部越窄。

注意

由于梯形失真校正调节是电子修正，可能会发生图像质量下降。

当信号从电脑输入时，将自动调节投影图像的相位、位距和移位 （APA （自动像素调整））

按遥控器上的 APA。在设定时再按一次以取消。
如果智能 APA 设定为开，在输入信号时会自动执行 APA。

关闭电源

1 按主机或遥控器上的 I/⏻ 键。
出现信息。根据信息再次按此键。

2 拔掉电源插座中的交流电源线。
在步骤 **1** 后，冷却扇将继续运转一段时间以减少内部蓄热，然而，在冷却扇停止运转前，也可拔下交流电源线插头。

清除确认信息

如果按了除主机或遥控器上的 I/⏻ 键以外的任何键，或一段时间内未按任何键，则此信息将消失。

关闭而不显示确认信息

按住主机上的 I/⏻ 键数秒钟。

指示灯

指示灯能用于检查投影机的状态并通知您投影机运行异常。
如果投影机呈现异常状态，请依照下表查找问题。

I/⏻ 键

状态		含义 / 解决方法
红色点亮		投影机处于待机模式。
绿色闪烁		• 投影机电源接通后投影机准备操作。 • 关闭投影机电源后，投影灯冷却。
绿色点亮		投影机电源开着。
橙色点亮		投影机处于节电模式（投影灯熄灭）。
红色闪烁		投影机处于异常状态。用闪烁次数表示症状。根据以下指导查找问题。如果重新出现此症状，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
	闪烁两次	内部温度异常升高。检查以下事项。 • 检查通风孔是否堵塞。 • 检查空气滤网是否阻塞。(第 15 页)
	闪烁六次	拔掉电源插座中的交流电源线。确认 I/⏻ 键熄灭后，重新将电源线插进电源插座，然后打开投影机。
	其它闪烁次数	请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

LAMP/COVER 指示灯

状态		含义 / 解决方法
红色闪烁		用闪烁次数表示症状。根据以下指导查找问题。
	闪烁两次	投影灯盖或空气滤网盖安装不牢固。（第 15 页）
	闪烁三次	投影灯温度异常升高。关闭电源，并等投影灯冷却后再打开电源。如果此症状重新出现，则投影灯可能已烧坏。在此情况下，请更换新的投影灯（第 13 页）。

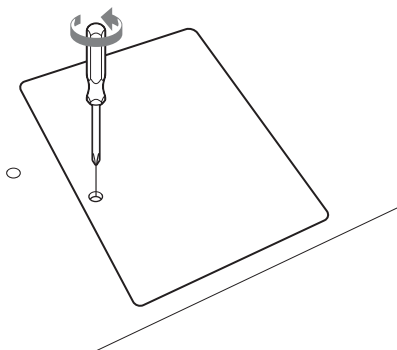
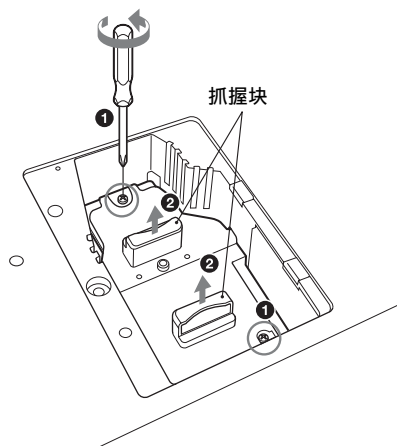
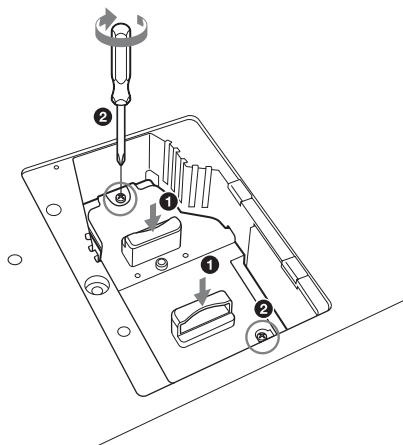
更换投影灯

如果投影图像上显示的信息或 LAMP/COVER 指示灯通知您须更换投影灯，则请更换新的投影灯 （第 12 页）。
使用 LMP-E211 投影机灯泡 （非附带）进行更换。

注意

- 关闭投影机电源后，投影灯的温度仍然很高。**如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。更换投影灯时，请在关闭投影机电源后至少等候 1 个小时让投影灯充分冷却。**
- 请勿在取下投影灯后让金属或易燃物进入投影灯更换插槽，否则可能会导致触电或火灾。请勿将手放进插槽内。
- **如果投影灯破损，请联系 Sony 公司专业技术人员。请勿自行更换投影灯。**
- 取下投影灯时，请务必抓住指定位置并将其径直拉出。如果触碰指定位置以外的投影灯部分，则您可能会被烫伤或受伤。如果在投影机倾斜时拉出投影灯，万一投影灯损坏，碎片可能散落并导致人身伤害。

1 关闭投影机电源并从电源插座拔出交流电源线。

2 当投影灯已经充分冷却后，即可松开 1 个螺丝打开投影灯盖。

3 松开投影灯上的 2 个螺丝，然后握住投影灯抓握块将其拉出。

4 将新的投影灯完全插入，使其固定到位。拧紧 2 个螺丝。

5 关闭投影灯盖并拧紧 1 个螺丝。

注意

确保投影灯和投影灯盖按原样牢固安装。否则将无法打开投影机电源。

6 将交流电源线连接至电源插座，然后打开投影机电源。

7 重设有关下一次更换时间通知的投影灯操作时间。

选择操作设定菜单上的“重设投影灯操作时间”，然后按 ENTER 键。当出现信息时，请选择 “是”重设投影灯操作时间。

清洁空气滤网

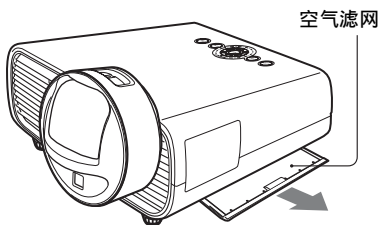
当投影图像上出现信息时 ，请清洁空气滤网。
如果在清洁后仍然无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。
有关新的空气滤网的详情，请咨询公司专业技术人员。

注意

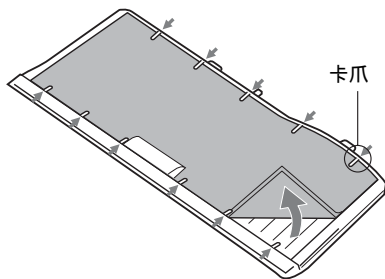
如果忽视清洁空气滤网，则灰尘可能会积聚从而造成堵塞。因此，本机内部的温度可能会升高从而造成故障或火灾。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔出交流电源线。

2 抽出空气滤网盖。

3 用吸尘器清洁空气滤网。
如下图所示拆下空气滤网，然后用吸尘器清洁空气滤网。

4 将空气滤网盖安装至本机。

注意

确保牢固安装空气滤网盖。否则将无法打开投影机电源。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in China